

官

報

號 外

明治三十二年二月八日 水曜日

印 刷 局

○ 第十三回 貴族院議事速記録第二十一號

明治三十二年二月七日(火曜日)午前十時二十七分開議

議事日程 第二十一號 明治三十二年二月七日

午前十時開議

第一 男爵安場保和君請暇ノ件

第二 増稅法案(政府提出案)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 戰器火薬類取締法案(政府提出案)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 不動產登記法案(政府提出案)

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 国債(外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案)

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 著作權法案(政府提出)

第十一 愛媛縣下郡界變更法律案(衆議院提出)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十三 府縣制中改正法律案(中西光三郎君)

第十四 郡制中改正法律案(外一名發議)

○議長(公爵近衛篤齊君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

昨六日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出日本銀行納付金ニ關スル法律案ハ即日内

ハ即日衆議院ニ回付シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出兌換銀行券條例中改正法律案ハ即日内

閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

特許法案

意匠法案

商標法案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

印紙稅法案

營業稅法中改正法律案
同日左ノ衆議院提出案ヲ受領シタリ

府縣農事試驗場國庫補助法案
特別年限地租增徵ニ關スル法律案

○男爵小澤武雄君 チヨクト伺ヒマスガ、此例年議會ニ於テ決算ノ報告書ノ調査ノコトデスガ、當議會ニ於テハ決算委員會ヲ開カレタコトモナイヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ二十七年八年ノ戰役ノ決算ト云フモノハマダ議了ニ至ラズシテ其儘ニナツテ居ルノテアリマス、ソレデ先例ニ依ルト、議了ニ至ラヌモノハ次ノ議會ニ於テ其事ヲ調査ニナルコト、考ヘテ居ルノデスガ、今申上ゲタ通音年ハマダ決算調査委員會ヲ開カレタコトモナイヤウデゴザイマスガ如何ニナツテ居リマスカ、チヨクトソレヲ伺ヒタイ

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレハ決算調査委員會ノ方へ照會ヲ致シマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、男爵安場保和君疾病ニ附キ二週間ノ請暇デゴザイマス、御異議ナクバ許可致シマス

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 増稅法案、政府提出、衆議院送附、第一讀會

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

候也 明治三十二年二月三日

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

貴族院議長公爵近衛篤齊殿

衆議院議長片岡健吉

増稅法案

(小原書記官朗讀)

明治三十一年十二月十三日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一條 外國貿易ノ爲外國ヨリ帝國ニ來リタル内外國船舶ニハ登簿噸數一

噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ增稅ヲ課シ數港ヲ經ルモノハ最初ノ港ニ於テ

十錢ヲ課ス但シ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付三十錢ヲ一時ニ納付スル

トキハ滿一箇年間何レノ港ニ於テモ增稅ヲ納ムルヲ要セス

帝國ト測度法ヲ異ニスル國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル測度法

ニ依リ換算ス

○政府委員(目賀田種太郎君)頓稅法案ハ此度新ニ定メラル、モノデゴザイマス、其由來ヲ申上ゲマスルト云フト、元來此各國トノ舊條約中ニ於キマシテ、帝國政府ハ諸港安全ノタメニ燈明臺浮標若クハ瀕標ヲ設クベシト云フコトガゴザイマスルノデ、又同時ニ舊條約ニ附帶シタル貿易規則第六則ニ頓稅ハ課セズト雖モ入港手數料十五弗ヲ納ムベシ又出港手數料ヲ七弗納ムベシト云フコトニナツテ居リマゴザイマスル、ソレヨリ致シマシテ、現在ニ於キマシテハ、稅關規則第一條ニ於キマシテ外國貿易ニ從事スル船舶ハ入港手數料トシテ十五圓ヲ納メ又第三條ニ於テ同一ノ船舶ハ出港手數料七圓ヲ納ムト云フコトニナツテ居リマス、右申上ゲル如クデゴザイマスカラ、是マデ頓稅ノコトハ施設モ致シタイデゴザイマスケレドモ、免ニ角現在ノ稅關規則ナルモノハ矢張其源ヲ貿易章程ニ取ツテ居ル譯デゴザイマスルデ、本ガ條約デゴザイマスカラシテ改正故ニ此法案ハ敢テ收入ヲ増スト云フコトノ目的デハゴザイマセヌケレドモ一スル等ノ事ニ當ルコトヲ得ズシテ今日ニナツタ譯デアリマス、今ヤ幸ニ新シキ條約モ執行ニナラントスルノ際デゴザイマシテ、是ヨリシテ始テ帝國政府ハ内外ノ船舶ニ對シテ頓稅ヲ課スルコトヲ得マスル場合デゴザイマス、ソレハ整理ノタメニ新タル頓稅法ヲ設ケ又一方ニ於テハ多少ノ歲入ヲ得ント故ニ此法案ハ敢テ收入ヲ増スト云フコトノ目的デハゴザイマセヌケレドモ一スルノ趣意ニ外ナラヌ譯デゴザイマス、唯今外國貿易ニ從事致シテ居リマスル所ノ内國船ノ頓數ハ總體デ七十八万頓デゴザイマシテ、又外國船ノ頓數ハ三百九十万頓餘ニナツテ居リマスワレデ船舶ノ大キサヲ申シマスルト云フト内國船ハ一艘ノ平均頓數ガ千一百頓ニ當リマス外國船ハ一千七百頓程ニ當リマスソレデ是ハ此度總アノ外國貿易ニ從事スル船舶ニ對スル所ノモノデゴザイマスカラ提出ノ原案ニ據リマスルト云フト平年ニ於キマシテハ四十八万圓程ノ歲入ヲ得ル目的デゴザイマス唯此案ノ初年ニ於キマシテハ略々唯今ノ目的又第二條ニ於キマシテ船用品積入ノタメニ入港シタル船舶ニ頓稅ヲ課サヌコトノ性質ニ於テ其本旨ヲ失シテ居ラウト思ヒマス又修正ノ稅率ハ餘リ低廉ニシテ決シテ諸入費等ノ上カラ見マスルト其當ヲ得ナイト思ヒマス此度ノ頓稅法ハドウシテモ燈明臺ノ費用并モ包含シテ居リマス積デアリマスカラ元來原案ノ稅率ハ決シテ高イ譯デハナイソレヲ故ラニ安クスルト云フト何分突然ニ此修正ガ加リマスケレドモ手數料ガ少シ倍以上ニナル位ナモノデアラテワレデハ一向利益ニナルマイト思ヒマス旁々此稅率ノ點ニ於テ同意致シ兼テ居リマスワレカラ已ムコトヲ得ズ帝國ノ港ニ這入シテ來ル船舶デアラトカ或ハ船舶ノ修復ヲ要スルトカ云フコトデ已ムヲ得ズ不任意ニ這入シテ來タノデアリマスカラ頓稅ヲ課セヌ船用品ノ積入レテアリマスルト云フト是ハ不任意トハ稱セヌ任意ニ這入シテ來ルモノデアリマスカラ貿易船ノ難船ト船用品ノ區別ト云フモノハ非常ニ面倒ナモノデゴザイマシテ殊ニ長航路ノ船用品ニナリマスルト殆ド他ノ積荷奪ト同一ニテ區別ナキモノデアリマスカラ之ヲ區別ナレ免稅ヲスルト云フコトハ任意不任意ノ場合ヲ混合スルモノデアリマスカラ是レ亦穩當デアルマイト考ヘマス旁々此提出案ニ附キマシテハ原案ヲ維持シテ置キマスルデゴザイマス此段ヲ申上ゲマス

○政府委員(目賀田種太郎君)頓稅法案ニ附キマシテハ原案通ニ通過シマテ法律ガ發布ニナリマスルト此政府ノ收入ハ如何程位ニナリマスカラチヨウト伺ヒタウゴザイマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 平年ニ於キマシテハ四十七万圓……
譯デアリマスケレドモ免ニ角唯今ノ入出港ノ手數料ナルモノハ慶應二年ノ取定ヨリ起シテ居ルモノデアリマスカラ殆ド三十年以上ノ前ノ話デアル、此度ノ頓稅法ノ創定ハ全ク新シイコトデゴザイマスレバ之ヲ以テ前ノ手數料ト比較スル譯ニハ參ラヌ免ニ角内外船舶ニ對シテ新シク此方ヲ制定スルモノデゴ

○政府委員(目賀田種太郎君)頓稅法案ハ此度新ニ定メラル、モノデゴザイマス、其由來ヲ申上ゲマスルト云フト、元來此各國トノ舊條約中ニ於キマシテ、帝國政府ハ諸港安全ノタメニ燈明臺浮標若クハ瀕標ヲ設クベシト云フコトガゴザイマスルノデ、又同時ニ舊條約ニ附帶シタル貿易規則第六則ニ頓稅ハ課セズト雖モ入港手數料十五弗ヲ納ムベシ又出港手數料ヲ七弗納ムベシト云フコトニナツテ居リマゴザイマスル、ソレヨリ致シマシテ、現在ニ於キマシテハ、稅關規則第一條ニ於キマシテ外國貿易ニ從事スル船舶ハ入港手數料トシテ十五圓ヲ納メ又第三條ニ於テ同一ノ船舶ハ出港手數料七圓ヲ納ムト云フコトニナツテ居リマス、右申上ゲル如クデゴザイマスカラ、是マデ頓稅ノコトハ施設モ致シタイデゴザイマスケレドモ、免ニ角現在ノ稅關規則ナルモノハ矢張其源ヲ貿易章程ニ取ツテ居ル譯デゴザイマスルデ、本ガ條約デゴザイマスカラシテ改正故ニ此法案ハ敢テ收入ヲ増スト云フコトノ目的デハゴザイマセヌケレドモ一スル等ノ事ニ當ルコトヲ得ズシテ今日ニナツタ譯デアリマス、今ヤ幸ニ新シキ條約モ執行ニナラントスルノ際デゴザイマシテ、是ヨリシテ始テ帝國政府ハ内外ノ船舶ニ對シテ頓稅ヲ課スルコトヲ得マスル場合デゴザイマス、ソレハ整理ノタメニ新タル頓稅法ヲ設ケ又一方ニ於テハ多少ノ歲入ヲ得ント故ニ此法案ハ敢テ收入ヲ増スト云フコトノ目的デハゴザイマセヌケレドモ一スルノ趣意ニ外ナラヌ譯デゴザイマス、唯今外國貿易ニ從事致シテ居リマスル所ノ内國船ノ頓數ハ總體デ七十八万頓デゴザイマシテ、又外國船ノ頓數ハ三百九十万頓餘ニナツテ居リマスワレデ船舶ノ大キサヲ申シマスルト云フト内國船ハ一艘ノ平均頓數ガ千一百頓ニ當リマス外國船ハ一千七百頓程ニ當リマスソレデ是ハ此度總アノ外國貿易ニ從事スル船舶ニ對スル所ノモノデゴザイマスカラ提出ノ原案ニ據リマスルト云フト平年ニ於キマシテハ四十八万圓程ノ歲入ヲ得ル目的デゴザイマス唯此案ノ初年ニ於キマシテハ略々唯今ノ目的又第二條ニ於キマシテ船用品積入ノタメニ入港シタル船舶ニ頓稅ヲ課サヌコトノ性質ニ於テ其本旨ヲ失シテ居ラウト思ヒマス又修正ノ稅率ハ餘リ低廉ニシテ決シテ諸入費等ノ上カラ見マスルト其當ヲ得ナイト思ヒマス此度ノ頓稅法ハドウシテモ燈明臺ノ費用并モ包含シテ居リマス積デアリマスカラ元來原案ノ稅率ハ決シテ高イ譯デハナイソレヲ故ラニ安クスルト云フト何分突然ニ此修正ガ加リマスケレドモ手數料ガ少シ倍以上ニナル位ナモノデアラテワレデハ一向利益ニナルマイト思ヒマス旁々此稅率ノ點ニ於テ同意致シ兼テ居リマスワレカラ已ムコトヲ得ズ帝國ノ港ニ這入シテ來ル船舶デアラトカ或ハ船舶ノ修復ヲ要スルトカ云フコトデ已ムヲ得ズ不任意ニ這入シテ來タノデアリマスカラ頓稅ヲ課セヌ船用品ノ積入レテアリマスルト云フト是ハ不任意トハ稱セヌ任意ニ這入シテ來ルモノデアリマスカラ貿易船ノ難船ト船用品ノ區別ト云フモノハ非常ニ面倒ナモノデゴザイマシテ殊ニ長航路ノ船用品ニナリマスルト殆ド他ノ積荷奪ト同一ニテ區別ナキモノデアリマスカラ之ヲ區別ナレ免稅ヲスルト云フコトハ任意不任意ノ場合ヲ混合スルモノデアリマスカラ是レ亦穩當デアルマイト考ヘマス旁々此提出案ニ附キマシテハ原案ヲ維持シテ置キマスルデゴザイマス此段ヲ申上ゲマス

○子爵内藤政共君 チヨウト質問シマス第一條ノ第二項ノ帝國ト測度法ノ達ヒマス場合ニハ帝國ノ定ムル測度法ニ依ツテ算スルノデゴザイマス、是ハ各測度法ハ佛蘭西デアラテモ……米國杯ハ殆ド日本ト同ジヤウデアリマス幾分カ差ガアルコトデゴザイマスサウ致スト是ハサウ云フヤウナモノハ矢張外國

明治三十二年一月十六日

内閣總理大臣侯電山縣有朋
内務大臣侯西鄉從道

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

ノ測度法ヲ信用シテシマスガ矢張日本ノ測度法ニ合セテ御測リニナリマスカ
○政府委員(日賀田種太郎君) 内藤子爵ニ御答致シマス 現行測度法ハ明治十
七年ノ十號布告デゴザイマシテソレハ所謂「ブリチッシュ・ルール」英式ト申
ス、ソレデ測度法ハ世界ニ一ツアルサウデアリマスガ「ダニユープ、ルール」
「ブリチッシュ・ルール」トアリマス帝國政府デ採用ニナシタノハ「ブリチッシュ・
ルール」デアリマスガ丁抹ノ如キハ「ダニフル、」デゴザイマス然ル場合ニハ直ニソレニ依シテ測
度ガ出来マスカラ算呂盤上ダケノコトデ別ニ測度ヲ要スル程ノ手數ハゴザリ
マセヌ

○議長(公爵近衛篤曆君) 他ニ御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス
○子爵小笠原壽長君 此特別委員ノ選定ハ議長ニ御委託致シマス
○男爵中川興長君 贊成
○議長(公爵近衛篤曆君) 議長委托ニ御異議ガナクバ其通ニ取計ヒマス
○子爵谷干城君 此場合ニ少シ發言ヲ許サレタコトガゴザイマス豫テ此豫
算委員會ノ報告ヲ今日マデニ結了致シマスル御約束デゴザイマシタガ種々事
情ガゴザイマシテドウモ本日ハ御報告致スコトガ出来マセヌデゴザイマスル
カラ來ル十日マデニ御報告致スコトニシタイト存ジマス、尤モ議事ノ進行次
第明日ニモ明後日ニモ報告致シマス積デアリマスガ先づ十日マデト一ヶ延期
ヲ願ヒタウ存ジマス、滿場ノ諸君ニ此議ヲ御諮詢リト願ヒマス
○議長(公爵近衛篤曆君) 唯今豫算委員長ノ要求ニハ別段御異議ハゴザイマ
スマイ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○男爵谷干城君 是ヨリ委員會ヲ開キタウ存ジマスガ御許ニナリマスカ
○議長(公爵近衛篤曆君) 多數ノ委員ハアチラニ集シテ居リマセウカ
○子爵谷干城君 ソレハチヨット何トモ申シ難イ
○議長(公爵近衛篤曆君) 宜シウゴザイマセウ、若シ定足數ニ缺ケサウデシ
タラ御知ラセシマス
○周布公平君 行政裁判所法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ
僅ナ人數デスガ御許ヲ願ヒタイ
○議長(公爵近衛篤曆君) 少シ定足數ニ缺ケサウデゴザイマスカラ暫ク御控
ヘラ…戎器火薬類取締法案政府提出衆議院送付第一讀會

〔小原書記官朗讀〕
戎器火薬類取締法案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十二年一月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤曆殿

戎器火薬類取締法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

貴族院議事速記録第二十一號 明治三十二年一月七日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

戎器火薬類取締法案 第一讀會

○政府委員(小倉久君) 本案ヲ提出致シマシタ理由ハ銃砲取締規則ハ明治五年ノ制定デゴザイマスカラ爾來社會ニ進歩共ニ此銃砲ノ需用モ増シ又其種類モ増加シタ譯デゴザイマス、而シテ其銃砲ヲ販賣致シマスル商業者ノ數ト云フヤウナモノモ定メテゴザイマシテ其數ハ極テ少いノデゴザイマス、實用ニ今日差支フルコトモアルノデゴザイマス、其他輸入運搬等ノコトカラモ不完全ナコトガゴザリマスル刀劍槍戟ノ類モ入レテゴザイマセザクタ併シ其刀劍槍戟モ場合ニ依クテハ大ニ危險ノ憂ガアルノデゴザイマスカラ同ジク危險物トシテ同一ノ法律ノ中ヘ東ネテ取締タ方ガ宜イト心得テ出シマシタノデゴ

第一條 本法ニ於テ銃砲ト稱スルハ軍用銃砲及非軍用銃砲ヲ謂ヒ火薬類ト稱スルハ火薬雷管導火線其ノ他爆發質物品ヲ謂フ
第二條 軍用銃砲及火薬類ハ官廳ノ委任ヲ受ケタル者ニアラサレハ製造又ハ輸入スルコトヲ得ス但シ火薬商及特ニ官廳ノ許可ヲ受ケタル者ノ火薬類輸入ハ此ノ限ニ在ラス
第五條 銃砲製造ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ廳府縣長官ノ許可ヲ受クヘシ銃砲ノ修繕ヲ營業トスル者ハ銃砲製造營業者ト看做ス
第六條 銃砲商及火薬商ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ廳府縣長官ノ許可ヲ受クヘシ
第七條 火薬商及銃砲商ノ廳府縣ニ於ケル定期員ハ内務大臣之ヲ定ム
第九條 銃砲製造營業者銃砲商又ハ火薬商ガ法律命令ニ違背シ又ハ銃砲火薬類ヲ危險ノ用ニ供スルノ虞アルトキハ廳府縣長官ハ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止スルコトヲ得
第十條 銃砲製造營業者ハ其ノ製造改造ニ係ル銃砲ヲ銃砲商以外ノ者ニ賣渡シ讓渡シ交換シ又ハ贈與スルコトヲ得ス但シ官廳又ハ特ニ官廳ノ許可ヲ得タル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス
第十一條 銃砲、火薬類ハ行商シ又ハ露店市場其ノ他屋外ニ於テ販賣スルコトヲ得ス
第十三條 内務大臣ハ公共ノ安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキハ期間及地域ヲ限リ銃砲、火薬類ノ授受運搬及携帶ヲ禁シ又ハ制限スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ警察官憲兵ハ必要ト認ムルトキハ銃砲ノ検査ヲ爲シ又ハ銃砲、火薬類ヲ領置スルコトヲ得
第十八條 左ノ事項ニ關シ取締上必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
一 軍用銃砲及火薬類ノ貯藏運搬及其ノ他ノ取扱
二 火薬類倉庫ノ位置及其ノ構造
三 導火線、煙火、燧寸、爆發質玩弄品ノ製造販賣
四 火薬類ヲ要スル工業ニ關スル必要ナル事項
(政府委員小倉久君演壇ニ登ル)

ザイマス、又火薬取締規則ハ明治十七年ノ制定デゴザイマスルカラ銃砲取締規則ニ比スレバ稍々完全デアルヤウデゴザイマスガ是又此事物ノ進歩ニ伴ヒマシテ火薬ノ需要モ多クナリ外國輸入モ多クナルト云フヤウノコトデゴザイマシテ其賣捌屋ノ數モ是亦少イノデゴザイマスノデ實際ノ需要ニ是モ應ジ難イ場合ガゴザイマスル、ソレデ此銃砲取締規則火薬取締規則ノヤウナモノハ同ジク行政警察ノ上デ取締ルベキモノデゴザイマスルデ是モ彼モ改正ヲスルト云フナラバ一ツニ束ネテ改正ヲシタラ宜カラウト云フノデ本案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、即チ是マデノ現行法ノ不完全ナル所ヲ補ヒ且ツハ現行法ニ定メテゴザイマス所ノ單ニ取締ニ掛ル細目ノ如キハ行政命令ニ讓ル方ガ便デアルト云フ此二ツノ趣意デ本案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ此戦器火薬取締法案ノ中デ戎器トゴザリマスルニ刀劍槍戟ガ加ヘテアルガ銃砲ト刀劍槍戟トハ種類ノ違フモノノデアルカラ自然此銃砲ヲ取締ラナケレバナラヌガ此刀劍槍戟ハ別ノ法律ナリ命令ナリデ取締ヲタ方ガ宜カラウト云フノテ衆議院デハ修正ニナリマシタノデゴザイマス、政府モ亦同ジモノデ之ヲ取締ラヌケレバ是非ナラスト云フ意デモゴザイマセスガ政府ノ意ハ前ニ申シマスルヤウナ譯デゴザイマス、デ本院ニ於テ衆議院ノ通ラト云フノデ本案ヲ提出シマシタ譯デゴザイマシテ其理由書ニ掲ゲテゴザイマスニ御議定ニナリマスレバ尙ホ更ニ刀劍槍戟ノ取締ノ方法ヲ講ズル積デゴザイマス大體唯今述ベマシタ通デゴザイマシテ

○政府委員(小倉久君) トヲチガ宜シイノデゴサイマス

○關義臣君 今ノ御説明デ見マスト衆議院ノ改正ノ方ニナツテモ宜シ、又政府ノ初ニ御出シニナツタ方デモ宜シトスウ云フ譯デゴザイマスカ

○政府委員(小倉久君) ワレハ固ヨリ原案ノ通ニナレバ重疊ノコトデゴザイマス、併シ強テ一ツモノニシナケレバナラスト言フ程ノコトデモアリマセス

○關義臣君 ソレデハ初メヨリ其御趣意デ取締ガ二ツニナツテモ宜シトイ云フ御趣意デ御出レニナツタノデスカ、今ノ御説明デ見ルト即チ戎器取締ト稱スルハ銃砲刀劍及槍戟デスガ、斯ウ云フ方ノ便利ノ御見込デ御出シニナツタモノニアラウト思フガ……

○政府委員(小倉久君) 共ニスレバ便利ダト思フテ詰リ出シタノデアリマスル

○關義臣君 サウシマスルトドチラデモ宜シ、衆議院ノ方デモ宜シ、政府ノ原案ノ通デモ宜シト云フノデスナ

○政府委員(小倉久君) 本院デ若シ衆議院ノ議定ノ通ニナリマスレバ更ニ出シマンテモ取締ノ出來ナイコトハナイト云フコトヲ申述ベタノデゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 衆議院ノ修正ニ對シテノ政府ノ意思ハ關君ヘノ御答デ略々分ツタヤウデアリマスガ此案ノ大體ノ性質ニ附イテ私ハ質問致シタイト思ヒマス、外ニモ二三アリマスガワレハ後ニ致シマシテ先ヅ第一ニ銃砲火薬類ノ取締即チ此法案ト云フモノハ現行ノ規則ヨリモ取締ヲ緩ニナサルト云フ御考デアルカ、將タ嚴ニスルト云フ御考デアルカ、幾ラカ緩カニナサル御考デアルカ、或ハ嚴カニシテ行カウト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺フテマ

○政府委員(小倉久君) 少レ込入ワタヤウデアリマスガサウスルト軍用銃デナイモノモ軍用銃ト看做シテ居ルモノガアルト云フコトアルガソレハドウ云フ

○政府委員(小倉久君) 此銃砲ノコトハ陸軍省ト協議ノ上デゴザイマシテドウ言フモノヲ軍用銃ト、ドウ言フモノヲ非軍用銃ト言フコトハ陸軍ノ政府委員ガ出テ居ラレマスルカラ陸軍ノ政府委員カラ御聽ヲ願ヒタイ

○男爵伊達宗敦君 ソレハ此本案ニ依レバサウデスガ、現今ノ所ハドウデス、唯今ノ御答ニ據レバ現ニ軍用銃デナイモノヲ軍用銃ト認テ居ルト云フモノデアルカラ其方ニ向クテハ緩ニスルト云フコトデアタガ、サウスレバアナタハ法律デ軍用銃デナイモノヲ軍用銃ト認メテ居ルト云フ御考ガナクテハナラヌ

○政府委員(小倉久君) ハイ例ヘバ「ピストル」ノ如キハ軍用銃トシテアタノデ……

○男爵伊達宗敦君 宜シイソレデ分リマシタ、モウ一ツ御尋ネシタイ……

○伯爵大村純雄君 私モソレヲ質問致シタイ考デゴザイマシタガ併シ政府委員ノ唯今ノ御説明デ分リマシタガソレハ申シマセヌガ第十八條デゴザイマス、第十八條ニ「取締上必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」とアリマスガ此命令ト云フモノハ如何様ナモノデゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヘバ参考ニナリマスデゴザイマス

○政府委員(小倉久君) ワレハ十八條ニ一ニ「銃器及火薬類ノ貯藏運搬其他ノ取扱」火薬類倉庫ノ位置及其ノ構造ト言フヤウニ茲ニ列ネテゴザイマスルスウ言フ類ヲ申ス積デゴザイマス

○伯爵大村純雄君 サウデゴザイマスカ、ワレハ其全文ヲ承リタイノデ、併シ今日御答ガ出來マセヌケレバ……

○政府委員(小倉久君) 十八條ニ一二三四トゴザイマス、斯ウ云フ類ヲ申ス積デゴザイマス

○伯爵大村純雄君 先ヅ其他ノ……

○政府委員(小倉久君) サウ云フコトハ事實ニ當レバドンナコトカト云フ御尋ネデゴザイマスカ

○伯爵大村純雄君 サウデゴザイマス

○政府委員(小倉久君) ソレハ倉庫ヲ搭ヘマスニハ離宮ヲ離レルコト何間トカ或ハ運搬ヲスルニハ赤地ノ旗ヲ樹テロトカ、夜中ハドウシロト云フヤウナ細カイコトマデ今日ハ書イテゴザイマスノデス……ソレハ法律ニ書カヌデモ命令デ以テ定メルコトが出來ル積リナノデゴザイマス

○伯爵大村純雄君 其命令ヲ御示シ下サルコトハ出來マセヌカ

○政府委員(小倉久君) 命令ガアルカト仰シヤルノデスカ

○伯爵大村純雄君 ハイ

○政府委員(小倉久君) ソレハマダゴザイマセヌノデ此法律ガ通過ヲ致シマスレバ其上テ命令ハ定メル積ナノデゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 此法案ノ二條ノ但書ニ附イテ御尋シタイ、此二條ノ但書ニ「火薬商及特ニ官廳ノ許可ヲ受ケタル者ノ火薬類輸入ハ此限ニ非ス」トアル、併シ政府ノ原案デ御尋ネシマスガ特許ヲ受ケタル者ト云フノハドウ云フヤウナ種類ノ人ヲ指スノデアリマセウカ、ソレヲ御尋ネシタイ

○政府委員(小倉久君) 是ハ鑛山用ナンゾニ使ヒマス、古河デゴザイマス、ソレニカ、住友デアルトカ云フ多量ナモノヲ使フ者ガアルノデゴザイマス、ソレニハ是マデ特ニ許可ヲ與ヘテアルノデゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 ソレカラ此十三條ニ「内務大臣ハ公共ノ安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキハ期間及地域ヲ限り銃砲火薬類ノ授受運搬及携帶ヲ禁シ又ハ制限スルコトヲ得」ワレデ此「公共ノ安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキ」ト云ヘバ平生ノ時デハナイ、一例ヲ言フテ見レバ選舉ノ騒デアルトカ何トカ云フヤウナ時デアラウト私ハ考ヘル、果シテサウデアリマスレバ平生ニハ制限即チ携帶ヲ禁シ又ハ制限ヲスル、禁ズルト云フコトハ別ニシテ置イテ制限ヲスル例ヘバ火薬類ノ授受運搬ノ制限ト云フモノハ平時ニハシナ、現今ノ規則デアルト小銃用ノ火薬ハ一回ニ三百目以上ハ買フコトガ出來ナイト云フコトニナクテ居ル、然ルニ今度十三條デアラウト公共ノ安寧ヲ保持スルト云フヤウナ場合ノ外ハ制限ヲシナイト云フ御考デアリマスカ、ソレトモ此制限云々ト云フコトハ今日ノ小銃用ノ火薬ヲ賣買スル場合デアリマスウ、斯ウ云フコトデゴザイマセウカ、ソレヲツ御尋ネシタイ

○政府委員(小倉久君) 御答ヲ致シマスルガ何レ此火薬ノ分量ノコトヤ何カト云フモノハ命令デ以テ定メル積リデゴザイマス、定メルニハ其規定以外ニ於テ尙ホ制限スルコトガ出來ルト云フ意味ノ積リデゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 少シマダ分リマセヌガ、此十三條ヲ見ルト安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキニハ制限ヲスルコトガ出來ル、ソレヲ裏カラ言ハバ平時ニハ制限スルコトハイラヌト云フヤウニ見ヘル、サウ云フヤウニ解釋シテ

○政府委員(小倉久君) イヤサウデハゴザイマセヌ、此命令ニ平生定メテ置イテ平生ハ是ダケ以上ハ貯藏スルコトハナラストカ販賣モナラストカ云フ命令ヲ持ヘル考デゴザイマスガ然ラバ其命令通デアリマスレバ販賣モ貯藏モ出来ル譯ナノデゴザイマスガ公共ノ安寧ヲ保持スルノ必要ガアラタ場合ニハ其

○男爵伊達宗敦君 ヨリモ尙ホ制限シテ行クコトガ出來ルト言フ意味ナノデゴザイマス、早川氏ノ質問ハ「簡短ナ質問デゴザイマス、唯今ノ御辯明ニ據レバ尙ホ理由書ニ依リマスト詰リ段々需要者ガ殖エテ販賣者ガ少イト云フ譯カラ增ガ今數ガ立ツテ居ル斯ウ言フ御話デアル、又衆議院ニ於テ早川ト云フ人が尋ねタトキニハ増スト云フコトガアル、唯ソレデハ分リマセヌカラチヨット讀

○思フデスガ拔其増スト云フノハ無制限ニ増スト云フ御考デアリマスカ、或ハ此本案ニ内務大臣之ヲ定ムト云フコトガアリマスカラ無制限デナイ、例ヘ

バ目下東京府下ニ五人ノ免許商ガアルガ十人マデ許スカドウデアリマスカト云フコトヲ御尋シタイ、ソレカラ條約改正ノ結果トシテ無論外國人ニモ許スコトニナラウト思ヒマスガ、ソレモドウデアリマスカ、併テ御尋シタイ、ソレカラ此理由書ノ中ニ「使用制限ノ不備缺點ト云フコトガアリマス、此使用制限ノ不備缺點ト云フコトハ少シ分リ兼ネマスガ、是ハドウ云フモノヲ御指シニナラタノデスカ、ソレモ御尋シタイ……此理由書ノ中ニ、賣買授受運搬使トカ云フヤウナ時デアラウト私ハ考ヘル、果シテサウデアリマスレバ平生ニハ制限即チ携帶ヲ禁シ又ハ制限ヲスル、禁ズルト云フコトハ別ニシテ置イテ制限ヲスル例ヘバ火薬類ノ授受運搬ノ制限ト云フモノハ平時ニハシナ、現今ノ規則デアルト小銃用ノ火薬ハ一回ニ三百目以上ハ買フコトガ出來ナイト云フコトニナクテ居ル、然ルニ今度十三條デアラウト公共ノ安寧ヲ保持スルト云フヤウナ場合ノ外ハ制限ヲシナイト云フ御考デアリマスカ、ソレトモ此制限云々ト云フコトハ今日ノ小銃用ノ火薬ヲ賣買スル場合デアリマスウ、斯ウ云フコトデゴザイマセウカ、ソレヲツ御尋ネシタイ

○政府委員(小倉久君) 定員ハ増ス積デゴザイマスガ、今日ハ法律ニ極メテドウ云フコトデゴザイマスカ……ソレハチヨット御分リ兼ネルナラバアトデモ宜シイ、先づ初ノ定員ハドウスルト云フコトヲ伺ヒタイ、外國人ニモ許サナケレバナラヌコトニナルダラウト思ヒマスガソレハドウデス

○政府委員(小倉久君) 定員ハ増ス積デゴザイマスガ、今日ハ法律ニ極メテアリマスカラツレヨリ以上ドンナニ必要ガアラウトモ一人モ増スコトニナ、テ居リマセヌ、必要ガアル場合ニハ内務大臣ハ増スコトガ出來ルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(小倉久君) 増スト云フコトハ分ツテ居リマスガ、定員ナシニ御増シテ内務大臣ニ於テ定員ヲ極メル積デアリマス

○男爵伊達宗敦君 増スト云フコトハ分ツテ居リマスカ

○政府委員(小倉久君) 内務大臣ガ定員ヲ極メルノデアリマスガ、ソレカラ外國人ニモ勿論許ス積デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 ソレカラ此軍用銃ノ區別ニ附イテ御尋シタイ、ソレハアナタデナシニ陸軍省ノ政府委員ニ向ツテ御尋シマセウカ

○政府委員(小倉久君) 左様デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 ソレカラ此軍用銃ノ區別ニ附キマシテ衆議院ニ於テ長谷場純孝氏が述ベラレタコトガアリ用銃ノ區別ニ附キマシテ衆議院ニ於テ長谷場純孝氏が述ベラレタコトガアリマス、ソレハ速記録ニ書イテアラテ政府委員モ御承知デアリマセウ、是ハ大シテ置キマスガ、果シテ長谷場氏ノ言ハレタ如ク勅令ヲ發セラレテ區別ヲ定メルト云フコトニ陸軍省ニ於テハ略、御確定ニナクテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、ソレヲ御尋致シマス

(政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 御答致シマス、此軍用銃ノコトニ附キマシテハ衆議院ニ於テ長谷場氏ガ申サレマシタ通ニ定メル積デゴザイマス、尤モ勅令ヲ定メルト云フコトニ陸軍省ニ於テハ略、御確定ニナクテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマスカ

○男爵伊達宗敦君 尚ホモウツ、此ビズとるト云フノハドウ云フ御考デアリマス、是ハ軍用銃ト御看做ニナルノデアリマスカ、私共ノ考ヘル所デハメマスルカ、省令ヲ以テ出シマスルカハ唯今明言ハ致シマセヌガ、免ニ角長谷場氏ノ申サレタ通ニ陸軍省デハ定メル積デゴザイマスカラ左様御承知ヲ願イカト思ヒマス、如何デス

○政府委員(中村雄次郎君) 御考ノ通デゴザイマス、元來拳銃ト云フモノハ軍用バカリヲ目的トシテ持ヘタモノデゴザイマセヌ、多クバ護身用ノタメアゴザイマス、テ今男爵ノ申サレタ通陸軍省ニ於テモ考ヘテ居リマス

○村田經芳君 私モ質問ガアリマス、此衆議院ノ修正ニ附キマシテ銃砲トアリマスガ、此銃ト砲トノ區域ハ口徑ハドノ位ノモノデアリマスカ
○政府委員(中村雄次郎君) 御答致シマス 是ハ口徑ヲ以テ定メルノデハアリマセヌ、携帶兵器不携帶兵器ヲ以テ區別ヲ致シテ居リマス、携帶兵器ナルモノハ人ガ一人デ……多クハ一人デゴザイマス、必ズ一人トモ極リマセヌガ、一人若クハ二人ヲ以テ携帶シテ歩イテ射撃ヲ致シマスモノ、之ヲ携帶兵器ト云クテ、是ガ即チ此處ア云フ銃デゴザイマス、其他或ハ數人若クハ獸類ニ依フテ運搬セラル、モノ即チ人ガ携帶スルモノデナイモノ不携帶兵器之ヲ砲ト申シマス、其方デ之ヲ區別致シテ居リマス

○男爵伊達宗教君 唯今内務省ノ政府委員ニ承ツタ中ニ定員ノ中ニ外國人ニモ許スカト云フコトヲ御尋シタガソレハ御答ガアリマセヌデシタガ……

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレハ答辯ガアツタヤウデゴザイマス
○男爵伊達宗教君 ドウ云フ答辯デアリマシタカ、私ハ聞キマセヌデシタガ
○許スト云フコトデゴザイマシタカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 許スト云フコトデ……モウ別ニ御質問ハゴザイマセヌカ、他ニ御質問ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵錦織教久君 本案ノ委員ハ議長ニ御委託致シタウゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス、不動產登記法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

不動產登記法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年一月十九日

貴族院議長公爵近衛篤齊殿

衆議院議長片岡健吉

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
内務大臣侯爵西郷從道
陸軍大臣子爵桂太郎
文部大臣伯爵松山資紀
外務大臣子爵青木周藏
遞信大臣子爵芳川顯正
農商務大臣山本權兵衛
司法大臣清浦奎吾
曾補荒助

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得
第二十一條 何人ト雖モ手數料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限り登記簿又ハ其附屬書類ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得
手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得
五百五十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得
(國務大臣清浦奎吾君演壇ニ登ル)
○國務大臣(清浦奎吾君) 諸君、不動產登記法案ハ百六十四條ヨリ成立致シマスル浩瀚ナ法案デアリマスルケレドモ、單ニ登記ノ手續ヲ規定シタマデノモノデゴザイマンテ理論トシテハ格別ムツカシイ法案デモナイト考ヘマス、從クテ提出ノ理由トシテ述ベマスルコトモ極メテ簡單テアリマス、要シマスルノニ現行ノ登記法ハ明治十九年ニ制定セラレ、二十三年ニ改正追加セラレタモノデアリマスガ、即チ地所家屋船舶ノ賣買讓與等ニ依クテ此權利ノ移轉致シマスル場合ト又質入書入ノ場合ヲ規定スルニ止クテ居リマス、昨年五月兩院ノ協賛ヲ經マシテ發布施行ニナリマシタル所ノ民法ニ依リマスレバ物權トナリマス所ノモノハ登記ヲ經ルニアラザレバ第三者ニ對シテ其效ヲ有セヌト云フヤウナ規定ニナクテ居リマシテ登記致シマスル範圍ハ餘程廣マクテ居リマス、ソレ故ニ十九年ニ制定セラレマシタル所ノ登記法ヲ以テ民法ニ規定シテ居リマスル所ノ事項ヲ包括シテ登記スルコトニ差支マスル、即チ此民法規定ノ效用ヲ十九年ノ即チ現行ノ登記法デハ完フルコトガ出來能ハヌト云フヤウナ次第デゴザイマス、是ガ即チ登記法ノ改正ヲ要シマスル理由デゴザイマス、デ既ニ十二議會ニ改正案ヲ提出致シマシテ本院ノ協賛ヲ經マシテゴザイマスルガ不幸ニシテ衆議院解散ノタメニ成立ヲ告グルコトガ出來能ハナカツタノデアリマスルガ昨年提出致シマシタノト大體ノ主義竝ニ其組立方ニ於テハ格別ノ相違ハアリマセヌノデアリマス、其後ニ尙ホ再審查ヲ遂グマシテ或ハ聊カ不備デアラウカト云フヤウナ點ニ就イテハ之ヲ補ヒ又文章ノ上ニ於キマシテゴザイマスル、衆議院ニ於テ聊カノ修正ヲ加ヘラレマシゴザイマスルガ此修正ニ對シテモ不同意ハアリマセヌノデアリマス、デ本案ガ通過致シマスレバ法律ノ結果トシテ此登記法ヲ行フニ附イテノ經費ノ要求即チ豫算ヲ提出セヌケレバナラヌヤウナ次第デゴザイマシテ、免ニ角豫算提出ノ上ヨリモ成ルベク本院ニ於テ速ニ該案ノ協賛アランコトヲ希望致シマスル
○議長(公爵近衛篤齊君) 周布君ニ申レマスガ最早定足數ニ差支ハゴザイマセヌカラ委員會ヲ御開キニナリマシテモ宜シウゴザイマス
○周布公平君 ソレデハ委員會ヲ開キマスカラ行政裁判法、訴願法改正案ノ委員ノ御方ハ御退席ヲ願ヒマス

○兒玉淳一郎君 私モ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 本案ニ就イテ別段ニ御質問等モナクバ委員ノ選定
ニ移リマス

○子爵鍋島直柔君 此特別委員ハ議長ニ御委託ヲ致シタウゴザイマス

○子爵錦織敦久君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十二年二月三日

衆議院議長片岡健吉

國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年一月十六日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法明治二十九年法律第五十九號事業公債
條例及明治二十九年法律第九十三號北海道鐵道敷設法ニ據ル公債ヲ外國ニ
於テ募集スル場合ニハ外國貨幣ヲ以テ證書ノ金額ヲ記載シ其ノ證書ノ種類、
元金ノ据置年限、募集、償還、利子ノ計算及仕拂ニ關スル方法其ノ他必要ナ
ル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得但シ償還期限ハ公債募集ノ年ヨリ
起算シ五十五年ヲ超ユルコトヲ得ス

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 本案ヲ提出致シマシタノハ公債募集ヲ致シマスル
ニ當リマシテ金融市場ノ景況ニ依リマシテハ外國ニ於テ募集スルヲ利益トス
ルコトガゴザイマスル、然ルニ現行ノ法規ニ依リマスルト其條項ノ中ニ外國
市場ニ適シマセヌコトガ數々ゴザイマスルカラ是ガ取除ヲ致シタイト存ジマ
シテ此法案ヲ提出ヲ致シマシタ譯デゴザイマスカラドウカ御審議ノ上御協賛
アランコトヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 御發議ガナタバ委員ノ選定ニ移リマス
○松永安彦君 本案委員ノ選舉ハ議長ニ御委託致シマス
○男爵中川興長君 賛成
(其他「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 議長委託ニ御異議ガナクバ
〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕
○議長(公爵近衛篤齊君) 著作權法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員
長報告

(加藤弘之君演壇ニ登ル)

○加藤弘之君 諸君、此著作權法案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、其前
ニ此正誤ガ一ツアリマスカラヲ初メ申上ゲマス、三頁ノ丸行目ニ、御手

許ニ回フテ居リマスデ御承知デゴザイマセウガ此賠償ヲ請求ノ所ニシト云
フシノ字ガ落チマシタカラ之ヲ入レマスダケノコトデアリマス、此著作權
法ハ理由書ニアリマスル通且ソ前會ノトキニ政府委員ノ辯明ノアリマシタ通

ニ是ハ此外國條約ニ就イテ據ナク是マデノ版權法ト云フモノデハイカヌカラ
改正セネバナラヌト云フコトノ必要ガ第一ニアツタメニ出來マシタコト
デ、ソレニ就イテ序ナガラ是マデノ版權法ニ於テ不都合デアルコトモ自ラ共
ニ改正スルト云フヤウナコトモ少ハアルノアリマス、併ナガラ大體ハ即チ

此瑞西ノベルヌデ各國ノ著作權ノ保護ニ就イテ會議ガアリマシタ所ノ即チ同
盟條約ト云フモノニ日本政府モ加入ヲシタカラ其タメニ即チ此著作權法ヲ新
ニ立テネバナラヌ、是マデノ版權法ニ換ヘテ此著作權法ヲ設ケネバナラヌト

云フコトニナクテ來タノデアリマス、ソコデ委員會ニ於テ萬國ノ各國ノ
此著作權保護ニ關スル同盟ト云フモノニ我日本ガ今日這入ラネバナラヌ必要
ガアラウカ、或ハ今日ハマダ這入ラヌ方ガ宜イデハナイカト云フコトニ就イ

テ話が出マシテサウシテ外務次官ニ其コトニ就イテ大分間ヲ起シマシタ、先
ツ委員諸君ノ考ヘラレル所デハ我日本ガ今日必ズ此同盟ニ這入ル必要ハ多ク
ナイト考ヘル、加之ナラズ此外國書ヲ翻譯スルト云フコトニ就イテハ同盟ニ
這入ルト誠ニ不便デアル、此同盟條約ニハ新ナ本ハ十年ノ間翻譯ガ出來ヌト
云フ規定ニナクテ居ルノアリマスカラ、此同盟ニ這入ラタトキニハ是マデ
外國ノ新ナル本ガ日本ニ舶來シテ來ル直グニ構ハズ翻譯ヲシタト云フコトハ
スルコトハ出來ナイコトニナクテシマフ、出版ノトキカラ十年經テ始テ外
ノ人ガ自由ニ翻譯ヲスルト云フコトガ出來ルノデアル、誠ニ不便ナコトニナ
ルノデ、ソレガ第一不便デアル、其外ニモ多少ノ不便ガ隨分アル、テ、イロイ
束縛サレルコトガ幾ラモアルカラ不便ガアルガ、翻譯ノコトハ最モ大ナル不
便デアル、不便ノミナラズ誠ニ國ノタメニ不利益デアル、外國ニ新ナル本ガ
出來テモ十年ノ間ハ洋書ヲ讀ム人ハ其事柄ヲ知ルコトガ出來ルケレドモソレ
ヲ日本語ニ譯スルコトハ出來ナイ、誠ニ其不便不利益ヲ極メタコトデアルカ
ラサウ云フヤウナ同盟ニ這入ラタト云フノハ誠ニ不都合ニ考ヘラレル、サウ
シテ又外國ノ方カラ考ヘテ日本ヲ其同盟ニ入レタタメニ澤山向フノ方ノ利益
ガアルカト云フト、向フニモ澤山ノ利益ハナリ、翻譯モ西洋同士ノ翻譯デアリ
マスルト、著述シテ直ニ翻譯サレルト云フコトガアルト隨分困ルケレドモ日
本語ニ翻譯ヲスルト云フヤウナコトハ、西洋ノ各國ノ言葉同士デ翻譯スルヤ
ウナニハ困リハレナイ、日本人ガ唯讀ムバカリデアリマスカラ向フノ方デハ
ソレ程困ラヌノミナラズ或ハ殆ド性質ノ變フタ國言葉ヲ以テ翻譯サレルト
云フヤウナコトハ著述者杯ハ隨分喜びナゾト云フヤウナ事情ノアルコトデア
ル、ソウ損モナシ向フテハ不都合モナイ位ナコトデアル、向フカラ見レバ…

實際日本人カラ考ヘレバ誠ニ不利益ナコトデアル、サウ云フ同盟ニ條約ノ改正ノ必要デハアルカモ知ラヌケレドモ必ズ此位ナコトハマダ暫ク同盟ヲ通レタ方ガ日本ノ利益デナシカ、既ニ亞米利加杯ハ是程ノ此各國ノ條約ニ這入テ居ラス、ソレカラ歐羅巴ノ内デモ、澳地利ガ這入テ居ラス、露西亞ガ這入テ居ラス、其外ニモ少シ這入ラス所ガアル、サウ云フ程ノコトデアルカラ東洋ノ日本ガ自分ノ利益ヲ捨テ、此同盟條約ニ這入ルト云フノハ誠ニ不都合デハナイカト云フ先ツ委員ニハ考ガゴザイマシタカラソレテ外務次官ニ對シテ問ウタ所ガ、外務次官ノ意見デハ隨分必要ニアルト政府ハ考ヘタノデアル、委員ノ言フヤウナコトモアルケレドモ併ナガラ條約ヲ改正スルトキニハコチラカラ總テ拒ムコト多イト云フヤウナコトデハ向フモ亦ヤカマシイ理窟ヲ言フト云フヤウナコトデアルカラ成ルタケハ互ニ利益ハ共スルト云フヤウナコトデナケレバナラスカラ、ソレデ必要ト政府ハ考ヘテシタノデアル、ソレノミナラズ此佛蘭西政府カラハ此同盟ノ結果トシテ生ズル所ノ日本ノ此著作権法ト云フモノハモウ何時出來ルカ、マダ出來ヌカト云フヤウナ問合ガ此項アル位デアル、其外特許法案环ニ就イテモサウ云フ問合ガアツタト云フヤウナコトデアリマシタ、ソレデ委員ノ方ノ考デハ佛蘭西ガドウ云フ譯デソレヲ急グカ其理ハ少モ分リマセヌガ併ナガラ政府ノ御答ハサウ云フコトデアツダ、ソレノミナラズソレハドウセ今日議論ヲシタ所ガ仕様ノナイコトデアツテ、是ハ即チ同盟ガ出來タノデアルカラ、之ヲドウモスルコトハ出來ナイ、ソレニ就イテ此著作権法ガ出來タノデアリマスルカラ、幾ラ不便ガアツテモ不利益ガアツテモ仕様ガナイ、ソレニ就イテノ法律ト云フモノが出來ネバナラスト云フコトハ當然ノコトデアリマスカラソレハ先ヅソレダケノ議論ト致シマシテ、サウシテサウシテ隨分研究ヲ遂ゲタ積デアリマス、其結果トシテ此修正ニナッタ所ノコトニ就イテ御報告ヲ致シマスルガ、隨分是ハムツカシイ法律案デアルノデ、ソレカラ一ツ其前ニマダ申シテ置キマスコトハ是マデノ版權法ト云フモノハ先ツ書籍ノ出版ニ就イテノコトデアツテ其外ノモノニハ及シテ居リマセヌガ、今度ハ總テ廣クナリマシテ第一條ニアル所ノモノハ演劇脚本淨瑠璃脚本能樂脚本及樂譜ダノソレニ就イテ與行權マデノコトモ規定スルト云フヤウナコトニナツテ居リマスカラ餘程廣ク以前ノ版權法ヨリハ區域ガ廣イノデ是モ即チ此ベルヌ條約ノ結果トシテ斯ウセナラスト云フコトニナツテ來タノデアリマス、併シソレハ決シテ不便ナコトノ部分デハナイ必ズ宜シイコトデアラウト思ヒマス、條ヲ逐フテ申述ベマスト第一條ノ「文學科學」ト云フ字ヲ文藝學術ト修正シタ「文學科學」ト云フノハ委員會デ大分間ガ出テ之ヲ西洋語デ云ヘバ即チ「リテラチュール」ト「サイエンス」ト云フヤウナ字デアル、サウシテ此同盟各國デ用ヒタノモソンナ字デアル、併ナガラ廣イ意味ニアルト云フコトデアリマシタケレドモ文學科學ト云フ字ハサウ廣イ意味ニハ取レズニ自ラ範圍ガ狹クナラウト云フ虞ガアリマシタカラソレテ文藝學術トスルト餘程廣クナルト云フ意味デ成ルタケ多ク包含スル方ガ宜カラウト云フ意味デ斯ウ變ヘマシタ、事柄ガ別ニ違フテ居ルト云フモノデハナイ、ソレデ此文學科學ト云フノハ後ニモ皆文藝學術ト同シヤウニ直シマシタ、一々申上グヌデモ宜カラウト思ヒマス、即チ段々後トノ方ニ於テ其通ニ皆ナツテ居リマス、ソレカラ二十四條是ハ矢

張同シコトデ唯今ノ字ヲ變ヘタバカリデアリマス、ソレカラ「十六條」ノ次ノ二十七條ト云フ、是マデノ二十七條デナイン、新ナ「十七條」ヲ入レマシテ、サウシテアトハ繰下ゲテ是ハ少モ此原案ニハナイコトデアル、「著作権者ノ不明テ居ルカ分ラスヤウナ場合、著作権不明ナル著作物デサウシテ唯今マデ發行モセズ又興行モセヌ固ヨリ版ニモナツテ居ラス寫本デアルモノデ隨分有用ナモノガアル、サウ云フモノガ其儘ニ著作権者ノ知レヌタメニ世ニ埋モレテシマフト云フコトハ誠ニ困フタコトデアリマスルカラサウ云フモノハ一ツ命令ヲ別ニ布イテ、サウシテ或ハ一年トカ一年半トカ二年トカ期限ヲ置イテ新聞紙ニデモ廣告シテサウシテ愈々著作権者ガ出テ來ヌ、サウ廣告ヲシテ見テモ著作権者ガ分ラヌト云フコトキニハ著作権者ガナイモノト見テモ宜イコト、定メテ、サウシテソレヲ他ノ人ガ發行シタリ或ハ興行スルコトヲ得ルト云フヤウニ定メタラ餘程便利デアラウ、是ガナイト結構ナモノデ世ニ埋モレテシマフト云フコトニナルカラサウ云フ場合ニハ命令デ其手續ヲ定メテスウ云フ規定ヲ立テルガ宜カラウト云フノデ此處へ入レマシタソレカラ第二十七條、以前ノ二十七條ガ「十八條」ニ繰下ガツテ外國人ノ著作権ニ附イテ是ハ總テ外國人ノミデアル、外國人ノ著作権ニ附イテハ「條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除キ」ト云フ所ヲ「著作権保護ニ關スル條約」ト云フダケ削ツタ、其趣意ハ著作権保護ニ關スル條約デナインモ外ノ一般ノ條約ニデモ其中ニ少シク矢張著ト致シマシテ、サウシテサウシテ隨分研究ヲ遂ゲタ積デアリマスカラ之ヲ取シテシマスルガ、隨分是ハムツカシイ法律案デアルノデ、ソレカラ一ツ其前ニマダ申シテ置キマスコトハ是マデノ版權法ト云フモノハ先ツ書籍ノ出版ニ就イテノコトデアツテ其外ノモノニハ及シテ居リマセヌガ、今度ハ總テ廣クナリマシテ第一條ニアル所ノモノハ演劇脚本淨瑠璃脚本能樂脚本及樂譜ダノソレニ就イテ與行權マデノコトモ規定スルト云フヤウナコトニナツテ居リマスカラ餘程廣ク以前ノ版權法ヨリハ區域ガ廣イノデ是モ即チ此ベルヌ條約ノ結果トシテ斯ウセナラスト云フコトニナツテ來タノデアリマス、併シソレハ決シテ不便ナコトノ部分デハナイ必ズ宜シイコトデアラウト思ヒマス、條ヲ逐フテ申述ベマスト第一條ノ「文學科學」ト云フ字ヲ文藝學術ト修正シタ「文學科學」ト云フノハ委員會デ大分間ガ出テ之ヲ西洋語デ云ヘバ即チ「リテラチュール」ト「サイエンス」ト云フヤウナ字デアル、サウシテ此同盟各國デ用ヒタノモソンナ字デアル、併ナガラ廣イ意味ニアルト云フコトデアリマシタケレドモ文學科學ト云フ字ハサウ廣イ意味ニハ取レズニ自ラ範圍ガ狹クナラウト云フ虞ガアリマシタカラソレテ文藝學術トスルト餘程廣クナルト云フ意味デ成ルタケ多ク包含スル方ガ宜カラウト云フ意味デ斯ウ變ヘマシタ、事柄ガ別ニ違フテ居ルト云フモノデハナイ、ソレデ此文學科學ト云フノハ後ニモ皆文藝學術ト同シヤウニ直シマシタ、一々申上グヌデモ宜カラウト思ヒマス、即チ段々後トノ方ニ於テ其通ニ皆ナツテ居リマス、ソレカラ二十四條是ハ矢

云フコトヲ論シテ居ルトカ斯ウ云フコトヲ書イテ居ルトカヲ入レルト云フノハ即チソレガ第二ノ所デアリマスガソレハ唯或ハ其證據ノタメニ入レルトカチヨゴトマ一引用シテ來テソレガ重モナコトニハナラヌ自分ノ議論ヲ確メルトカ自分ノ書イタ事實ヲ確メルトカ云フタメニ入レテ來ルノデソレハ幾ラモ世間ニ在ルコトデアル、ソレハ第二デ許スケレドモ第三ノ場合新ニ第三ト立テマシタ場合ハ少シ違フ、是ハ普通教育上ノ修身書小學中學邊ノ修身書ト及讀本ノ目的ニ供スルタメニ正當ノ範圍内ニ於テ拔萃蒐輯スルコト、是ハチヨクト其證據ニ引ク議論ノ確實デアルト云フコトヲ他ノ說ヲ以テ證據ニスルト云フノトハ大分違フ、是ハ他ノ書物ニ在ルコトヲ修身書ヤ讀本ニ持ツテ來テソレガ却テ其本ノ本文ニナルヤウナ程重イ意味デ用ヒル、是ハ第二ノ所ヨリハ餘程他ノ書カラ持ツテ來ルニ重味ガ此方ニ餘程アル、拔萃蒐輯ニアリマスカラソレバカリデ固ヨリ新ナ本ガ出來ルノデハナイケレドモソレバカリデスルトナレバマルデ偽作デゴザイマスケレドモ其他ノ書物ニ在ルコトヲ持ツテ來テ譬ニ引クノ證據ニ引クノト云フデナシニソレヲ以テ却ツテ重ナ部分トスル位ナモノデアル、ソレデ其第二ノ中ニ入レルトソレダケノコトハ出來マセヌカララ餘程其輕重モアリ、マ一廣イト狹イノ違ヒモアリマスカラシテソレデ是ハ第三ト云フモノヲ別ニ一ツ新ニ入レテ來タ、ソレカラ跡ハ第四第五ト繰リ下ルバカリ唯先刻申シタ「文學科學」ガ「文藝學術」ニ變ルバカリ、ソレカラ新ニ三十二條ト云フモノヲ入レマシタ朱書ノ三十二條是モ斯ウ云フ意味ノモノハ原案ニハナノイデは一般ノ學術ニ必要アルト云フ譯デハアリマセヌ、重モニ此數學坏ニ澤山アルコトデアルノテ學校デ用ヒル數學ノ教科書ト云フヤウナモノニソレニ解答ヲスル、其書物ニ問題ガ出ルソレヲ解答ヲスルノデソレハ元教科書ヲ編ンダ所ノ先生ガ生徒ニ與ヘテサウシテ生徒カラ解答ヲサセルノデソレヲ他カラ解答書ヲ持ヘテ發行ヲスルト云フヤウナコトニナルト矢張人ノ持ヘタ教科書ノ妨ケアヌルヤウナモノデアル、又生徒ノタメニモナラナイサウ云フ譯デアルカラ是ハ其モノヲ直ニ偽作スルノデハナイケレドモ問題ト解答ガ揃ハネバ一ツノモノトハ云ヘヌ位ノモノデアルカラソレデ解答書ヲ別ニ持ヘタモノハ總テ偽作者トセネバ大變不都合ガアル又教育上ニモ生徒ノタメニモ不都合ガアルト云フコトデ是モ偽作ノ部類ニ入レルコトニ致シタ、ソレカラ朱書ノ三十三條、是ハ「善意且過失ナク」トアルノハ文章が惡ウゴザイマスカラ之ヲ「善意ニシテ且過失ナク」ト直シタ、前ノ通デアルト善意ナク且過失ナクトナクテ仕舞フ、ソレデハ大變ナ間違デアリマスカラソレデ善意ニシテ過失ナクトシタ、ソレカラ唯條ノ繰下ゲガ此間ニ在リマス、ソレカラ朱書ノ三十七條「偽作ヲ爲シタル者ハ五拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ソレカラ第二項ノ方デ別ニ「情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者及偽作ノ所爲ヲ幫助シタル者」ト云フコトガアツテ此方ガ罰金ガ輕クナツテ居ツタノデソレヲ一ツニ寄セマシテ偽作ヲ爲シタル者トソレカラ情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シタ者ト或ハ頒布シタル者、是ハ偽作シタル者ト別段ニ罪ノ輕重ト云フモノガ差別ラノ出來ルモノデハナイ、偽作ヲシテモ其情ヲ知ツテソレヲ發賣スル或ハ頒布スルト云フ者ハ矢張罪ノ重イモノデアル、ソレデアルカラ偽作モ出來ルコトデアルカラ是ハ別ニ輕クスルニハ及ハヌト云フコトデ之ヲ皆、一ツニシマシテ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトニ致シタ、唯此二項ノ中ニ

反偽作ノ所爲ヲ帮助シタル者」ト云フソレダケハ此項ニハ一緒ニ這入ラヌ、是ハ刑法ノ方ニ譲ツテ刑法ノ從犯デ罰セラレ、バ固ヨリ不都合ハナイカラ是ハマルデ此法ニハ除イテ仕舞ツテ宜イト云フコトデ取りマシタ、ソレカラ後ハ條ノ變リノ結果デ變ヘタ所ガ多イ、ソレカラ此修正ノ四十條、著作者ニ非ザル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ此五十圓以上ト云フモノヲ三十圓以上ト減ジタ上ノ方ハ矢張五百圓デ其儘ニ止メテ置イタ、此趣意ハ著作者ニ非ザル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行スルト云フコトハ固ヨリ惡イコトニハ相違ナイケレドモ併シ是ハ別段ニ其三十七條ニ在ルヤウナ偽作ト云フモノトハ違フカラ自カラ情ニ少シ輕イ所ガアルカラシテ先ヅ其罰金ノ最低額ハ三十圓デ宜カラウ、併ナガラ斯ウ云フ部類ニモ或ハ重イモノモアレバレバレカラ四十三條、此朱書ノ四十三條ニ「偽作物及偽作ノ用ニ供シタル機械器具ハ偽作者印刷者發賣者及頒布者ノ所在ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス」其所デ輸入者ト云フコトヲ除キマシタ、是ハ除キマシタガ輸入者ト云フモノハ茲ニ這入ラヌデモ宜シイト云フコトデハナイ、是ハ原案ノ三十條ニ「帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ偽作物ヲ輸入スル者ハ偽作者ト看做ス」ト云フコトガアルカラ是ハ輸入者ト言ハナクテモ此偽作者ト看做サレタモノノデアルカラ是ハナクテモ宜シイト云フコトヲ取ッタ、唯ソレダケノコトヲ得但其翻譯物ヲバ罪ノナイ者トハシタノデハナイ、ソレカラ後ハ唯條ノ變リガ多ウゴザイマスガ此修正ノ四十九條「本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其當時ニ於テ偽作ト認メラレザリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但其翻譯物ハ本法施行後五年内ニ發行スルコトヲ要ス」トアルノヲ「七年」ト致シマシテ二年延バシタ、此譯ハ本法施行前翻譯シテ居ル卽チ此法律ガ立ツ前ニ今翻譯ニ掛シテ居ル、ソレカラ翻譯シテモノ又ハ翻譯ニ著手シテマダ未完デアルケレドモ今著手シテ居ルモノデ、サウシテ其當時ニ於テ偽作ト認メラレザリシモノ正當ノモノデアルト認メラレシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得ル、例ヘバ本ヲ翻譯シテモノ新シイ翻譯ヲシテモ或ハ此法律ノ出來ル前に翻譯ヲシカ、シテ居ルモノナラバソレノ出來上ガッタ所デ發賣頒布スルコトガ出来ル、但シ其翻譯物ハ本法施行後五年内ニ發行セネバナラヌ、今年此法律ガ立ツトスレバ其五年ノ間ニ發賣セネバナラヌ五年モ經フテモマダ翻譯ニ從事シテ居ルト云フコトデハイカヌ、五年ノ間ニハ發賣セネバナラスト云フノテアリマシタ、ガ隨分大部ナ本ニナルト云フト五年位ハ直キニ經シテ仕舞フト云フコトデ翻譯ニ隨分困ルコトガアル、大部ナ本ニナレバ翻譯バカリニ數年ヲ費スコトガアルカラ實ハ十年位ニシタイモノデアルト云フコトデ政府委員ヤ外務次官ナドニモ話ヲシテ見タガソレハドウモ餘程ムツカシイデアラウ、外國デ則チ此條ニ當ル所ノ翻譯ヲ既ニシカ、シテ居ルモノヲ此法律ニ拘ラズソレヲ許シテ發賣頒布スルノハ長イノハ四年デアル、短イノハ二年位ニ限フテアル、ソレデ其四年ヨリハマダ日本ノハ一年長クシテアル譯デアルカラドウモソレハ此同盟ニハ其年限ヲ限リト云フ別ニ明文ハナイケレドモ餘り外ト違フタコトヲスルト言フコトハ出來ヌコトデアラウト言フコトデアリマシタケレドモ併シ先刻モヨット申シマシタ通翻譯ト云フモノハ外國ノ歐羅巴同士ガ翻譯

模型ト云フモノモ這入^ヲテ居リマスルカ、這入^ヲテ居リマセヌカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 建築物ノ模型ト云フモノハ這入^ヲテ居ラナイノデゴザイマス、五十條デ此法律ハ建築物ニ適用シナイト云フコトニナ^ヲテ居リマスカラサウ云フモノハ這入^ヲテ居ラナイコトニナ^ヲテ居リマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 他ニ御發議ガナクバ本案ハ第一讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ハ第二讀會ニ移ルベシト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ第二讀會ニ移ルベシト決シマス

○加藤弘之君 是ハ隨分至急ヲ要スル法案ト思ヒマス是カラ衆議院ヘモ回ハサナケレバナラヌ、モウ日數モ切迫シテ居リマスカラ餘リ御發議モナイヤウデゴザイマスカラ二讀會ヲ直グニ御開キニナリタイト考ヘマス

○下條正雄君 贊成
(其他「賛成々々」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 直ニ第二讀會ヲ閉クト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ第二讀會ニ移リマス、第一條、朗讀ハ省略ヲ致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下皆同シ)

著作権法

第一章 著作者ノ權利

第一條 文書演述圖畫彫刻模型寫眞其ノ他文學科學若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス
文學科學ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ演劇脚本、淨瑠璃脚本、能樂脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

(特別委員修正案)

第一條 文書演述圖畫彫刻模型寫眞其ノ他文學藝術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス

文學藝術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ演劇脚本、淨瑠璃脚本、能樂脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

○伊澤修二君 チヨット本員ハコノ處デ尙ホ政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザ

イマス、第一條ノ第二項ノ所デ度ニ質問ヲシマシテ、恐縮デゴザイマスルガ、

ドウモ是デハ甚ダ不明瞭ト存ジマスカラ尙ホ政府委員ニ承リタイノハ例ヘバ

此處ニ其演劇脚本「淨瑠璃脚本、能樂脚本ト云フコトガアリマスルガ、長唄ノ脚本ト云フモノガナイ、長唄ノ脚本ト云フモノハドウサレル積デゴザイマスカ、ソレヲ一ツ承リタウゴザイマス

(政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(水野鍊太郎君) 唯今伊澤サンノ御質問ニ御答致シマス、此興行権ヲ包含シテ居リマスル著作物ハ今日マデハ演劇脚本ト樂譜ダケデアツタノデアリマス、ソレデ此新法律案ニシマシテモ、現行法ノ式ヲ採リマシテ演劇

脚本ト樂譜ダケト云フコトニ初メ考ヘタノアリマスルガ淨瑠璃脚本能樂脚

デ是ダケノモノヲ特ニ興行權發行權ト云フモノニ入レマシタ、唯今御問ノ長唄ノ脚本ト云フモノハ今日マデモ興行權ヲ含ンデ居リマセヌシ、又餘計其コ

トニ附イテ興行權ノ問題ガ起リマセヌデサウ云フコトハ此中ニ入レナイデモ宜カラウト云フノデ入レナカツタノデゴザイマスカラ長唄脚本ハ興行權ヲ包

含スルコトハナインデゴザイマスノデアラウト思ヒマス、然ルニ長唄ニハ興行權ヲ授ケズ却テ淨瑠璃ニ向^ヲテ

○伊澤修二君 唯今ノ政府委員ノ御説明ハ了解シマシタケレドモ尙ホ進ンデ

政府委員ニ承リタイノハ長唄ニシテモ名人ハ夫ミノ矢張興行權ヲ持ツベキモノデアラウト思ヒマス、然ルニ長唄ニハ興行權ヲ授ケズ却テ淨瑠璃ニ向^ヲテ

授ケタノハ如何ナル理由デアリマスカ

(政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(水野鍊太郎君) 唯今伊澤君ノ御尋ノ通長唄ト云フモノニシテモ興行權ヲ與ヘルト云フコトニシタ方ガ或ハ宣イカモ知レマセヌケレドモ詰リ

長唄ナドニ對シテハ餘計興行權ヲ持タネバナラヌト云フ今日マデ實例モゴザイマセヌシ致シマスルノデサウ云フコトハ必要デモ生ジテ來タラ免モ角モ今

日デハ興行權ヲ與ヘナイデモ宜カラウト云フコトデ入レナカツタノデアリマ

ス

○伊澤修二君 本員ハソレデハ此處ニ修正ヲ致サウト思ヒマス、此演劇脚本ト云フモノハ是ハ特別ナモノニナ^ヲテ無論居リマセウケレドモ淨瑠璃トカ能

樂トカ長唄トカ云フモノニ附イテハ今日マデ例ノナイモノヲ此度入レルト云

フコトニ附イテ自ラ矢張原案ニモ餘程不備ナル所ガアルト認メルノデアリマ

スソレデ此ノ如クニ分ケマスルト云フト却テ將來ニ於テ餘程不都合ガ生ジヤ

ウト思ヒマスカラ寧ロ是ハ各種ノ脚本各種ノ樂譜トスウ云フコトニナリマス

レバ誠ニ都合ガ好クナラウト存ジマスカラ此處ニ修正致シマシテ各種ノ脚本シタ通デアリマスカ、文學藝術ト云フ所ハ委員會ノ修正ニ御同意デアリマス

カ

○伊澤修二君 全ク同意デアリマス

○議長(公爵近衛篤麿君) サウスルト委員會ノ修正ニアナタノ修正ヲ加ヘル

モノト見レバ宜シウゴザイマスカ

○伊澤修二君 左様デアリマス、此以下ニモ何^ヲ脚本ト書キ分ケタモノハ各

- 水野遵君 伊澤君ニ御尋シマス、是ハ成規ノ賛成、二十人ノ賛成ガアリマスカ、如何デゴザイマスカ
○伊澤修二君 マダアリマセヌ
○水野遵君 賛成致シマス
○子爵丹羽長保君 賛成
○辻新次君 賛成
○下條正雄君 賛成
○三好退藏君 賛成
○松平安彦君 賛成
○鳥越貞敏君 賛成
○男爵杉溪言長君 賛成
○子爵立花種恭君 賛成
○中西光三郎君 賛成
○子爵稻垣太祥君 チヨウト伺ヒタウゴザイマスガ唯今長唄ト云フ御話モゴザイマスルガ此琴ヤ三味線ニ昔カラ検校杯ト云フモノガアリマス、山田流大トカ清元ト云フヤウナ樂譜ト云方ハ未ダ這入ルコトガ出來ナイノニアリマスガ、ト云フノハ西洋ヤ何カノ樂譜ヲ應用スルタメニ音樂學校アタリデヤクシテ其弟子ヘ手ヲ以テ傳ヘルサウ云フノハドノ部類ニ屬スルカ疑ガアリマス、唯今御話ノ各種ノ脚本ト云フ方ヘ其方ニ含蓄シテ矢張脚本ト云ヘル御考デゴザイマセウカ
- 伊澤修二君 御答申シマスガ私ノ修正ノ考デハ矢張琴歌ナドモ籠モル積デアリマス、此琴歌ニシマシテモ吾妻琴歌トカ箏曲大意抄ダトカ云フヤウナモノニ夫ミ手縁ガ附イテ居リマス、ソレガ取リモ直ザズ樂譜ニ當ルノデアリマスカラソレデサウ云フモノヲ含マセテ矢張各種ノ脚本ト云フコトニナツテ居リマシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、併ナガラ御覽デアリマスル所ノ箏曲大意抄ノ如キハ版權ノ保護ヲ受クベキ限デナイト思ヒマスガ將來出來テ参リマスルモノハ著作権モ興行権モ共ニ持タセルコトガ然ルベキコト、考ヘマス、各種ノ脚本ト云フコトハ唯今御問ノ如キモノヲモ含ムト云フ考デアリマス
- 子爵稻垣太祥君 賛成致シマス
○子爵小笠原壽長君 賛成
○子爵前田利鬯君 賛成
○籠手田安定君 賛成
○子爵本莊壽正君 賛成
○子爵一柳末徳君 賛成
〔賛成ト呼フ者多シ〕

- 議長(公爵近衛篤曇君) 伊澤君ノ修正動議ガ成立チマシタ、然ラバ伊澤君ノ修正ニ附イテ先ヅ決ヲ採リマス、伊澤君ノ修正ハ委員ノ修正ニ更ニ加ヘルノデアリマス之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數
- 議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス次ハ第二條ヨリ第二十三條マヂヲ問題ニ供シマス
- 第二條 著作権ハ之ヲ讓渡スコトヲ得
- 第三條 著作権ハ之ヲ讓渡スコトヲ得
- 三十年間繼續ス
- 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作権ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス
- 第四條 著作者ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作権ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス
- 第五條 無名又ハ變名著作物ノ著作権ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス但シ其ノ期間内ニ著作者其ノ實名ノ登録ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ
- 第六條 官公衛學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作権ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス
- 第七條 著作権者原著作物發行ノトキヨリ十年内ニ其ノ翻譯物ヲ發行セサルトキハ其ノ翻譯權ハ消滅ス
- 第八條 冊號ヲ逐ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノトキヨリ起算ス
- 一部分ツツヲ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノトキヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス
- 第九條 前六條ノ場合ニ於テ著作権ノ期間ヲ計算スルニハ著作者死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス
- 第十條 相續人ナキ場合ニ於テ著作権ハ消滅ス
- 第十一條 左ニ記載シタルモノハ著作権ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス
- 一 法律命令及官公文書
- 二 新聞紙及定期刊行物ニ記載シタル雜報及政事上ノ論說若ハ時事ノ記事
- 三 公開セル裁判所、議會並政談集會ニ於テ爲シタル演述
- 第十二條 無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作権者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得但シ著作者其ノ實名ノ登録ヲ受ケタルトキハ此ノ

限ニ在ラス
各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナラサル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ其ノ者ニ賠償シテ其ノ持分ヲ

取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス
各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又

ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ自己ノ部分ヲ分離シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

本條第二項ノ場合ニ於テハ發行又ハ興行ヲ拒ミタル著作者ノ意ニ反シテ其ノ氏名ヲ其ノ著作物ニ掲クルコトヲ得ス

第十四條 數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作者ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノミ著作權ヲ有ス但シ各部ノ著作權ハ其ノ著作者ニ屬ス

第十五條 著作權者ハ著作權ノ登錄ヲ受クルコトヲ得
發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權者ハ登錄ヲ受クルニ非サレハ偽作ニ對スル民事ノ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

著作權ノ譲渡及質入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第十六條 登錄ハ行政廳之ヲ行フ

登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコトナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 著作權ヲ承繼シタル者ハ著作者ノ同意ナクシテ其ノ著作者ノ氏名稱號ヲ變更シ若ハ其ノ題號ヲ改メ又ハ其ノ著作物ヲ改竄スルコトヲ得ス

第十九條 原著作物ニ訓點、傍訓、句讀、批評、註解、附錄、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正增減ヲ爲シ若ハ翻案シタルカ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 新聞紙及定期刊行物ニ掲載シタル記事ニ關シテハ小説ヲ除ク外著作權者カ特ニ轉載ヲ禁スル旨ヲ明記セサルトキハ其ノ出所ヲ明示レテ轉載スルコトヲ得

第二十一條 適法ニ翻譯ヲ爲シタル者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

翻譯權ノ消滅シタル著作物ニ關シテハ前項ノ翻譯者ハ他人カ原著作物ヲ翻譯スルコトヲ妨クルコトヲ得ス

第二十二條 原著作物ト異リタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ模製

シタル者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

第二十三條 寫真著作權ハ十年間繼續ス

前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ製作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

寫真術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ原著作物ノ著作權ト同一ノ期間内本法ノ保護ヲ享有ス但シ當事者間ニ契約アルトキハ其ノ契約ノ制限ニ從フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ二十四條二十五條、二十六條……二十四條ニハ修正ガアリマスガ第一條ノ修正ノ決定シタト同様ノコトデアリマスカラ三箇條採決スルトキニハ一緒ニ決ヲ採リマス

第二十四條 文學科學ノ著作物中ニ挿入シタル寫真ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文學科學ノ著作物ノ著作者ニ屬シ其ノ著作權ト同一ノ期間内繼續ス

第二十五條 他人ノ囑托ニ依リ著作シタル寫真肖像ノ著作權ハ其ノ囑托者ニ屬ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ特別委員修正ニテ這入リマシタ第二十七條……

○議長(公爵近衛篤磨君) 此通ニ決シマス、二十八條……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員ノ修正ニテ這入リマシタ第二十七條……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 此通ニ決シマス、二十八條……

(特別委員修正案)

第二十八條 外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作權保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國

ニ於テ始メテ其著作物ヲ發行シタル者ニ限り本法ノ保護ヲ享有ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 次ハ原案ノ二十八條委員修正ノ二十九條
第二十九條 著作権ヲ侵害シタル者ハ偽作者トシ本法ニ規定シタルモノノ外民法第二編第五章ノ規程ニ從ヒ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ

責ニ任ス

(特別委員修正案)

第二十九條 (條文原案ト同シキヲ以テ略ス以下同シ)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス次ハ修正ノ三十條

做サス

第二十九條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ偽作ト看

做サス

第一 發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ複製ス

ルコト

第二 自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍内ニ於テ節錄引用スルコト

第三 文學科學ノ著作物ヲ文句ヲ自己ノ著作シタル演劇脚本、淨瑠璃脚

本、能樂脚本ニ插入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第四 文學科學ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ插入

シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ文學科學ノ著作物

ヲ插入スルコト

第五 圖畫ヲ影刻物模型ニ作り又ハ影刻物模型ヲ圖畫ニ作ルコト

本條ノ場合ニ於テハ其ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

(特別委員修正案)

第三十條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ偽作ト看

做サス

第二 發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ複製ス

ルコト

第一 普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ範圍内ニ於

テ拔萃蒐輯スルコト

第四 文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル演劇脚本、淨瑠璃脚

本、能樂脚本ニ插入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第五 文藝學術ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ插入

シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ文學科學ノ著作物

ヲ插入スルコト

○伊澤修二君 本條モ第四項ノ所ハ矢張「演劇脚本」トアリマスガ是ハ先刻申シ述べタ通前ノ修正ト同ジク修正ニナラウト存ジマス、其他ノ所モ以下總テ

此文字ノアル所ハ修正ニナルベキモノト認メマシテ一々申述ベマセヌガドウ

ゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○菊池大麓君 伊澤君ニチヨット御相談致シマスガ「各種」ト云フ字ハイラヌ

唯單ニ「脚本」トシテ宜カラウト思ヒマス

○伊澤修二君 故ラニ「各種」ト云フ必要モナイカモ知レマセヌガ又各種ト云フノガアリマシテモ別段障リニモナラヌト存ジマスガ矢張前ノ文字ヲ用ヒ量キダイト考ヘマス

○菊池大麓君 伊澤君ニ今一應御相談シマスガ茲ノ所ハ自己ノ著作シタル各種ノ脚本トアフテハ餘程文章ガヲカシクナルト思フ是ハ矢張唯脚本ノ方ガ意味モ明デアルシ、文章モ餘程宜シカラウト思ヒマスカラモウ一應御考ヲ願ヒ

○伊澤修二君 菊池君ノ御說ノ通節チ各種ト云フ字ハ此所ニ用ヒヌ方ガ宜カラウト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 伊澤君ニ確メマスガ此條モ他ノ所ハ委員會ノ修正通ニ御異議ハナイノデスナ

○伊澤修二君 ハイ

○議長(公爵近衛篤齊君) 前ノ修正ト違ヒマシテ各種ト云フ字ガナイノデスカラ矢張二十名ノ賛成ヲ要シマス

○水野遵君 賛成

○周布公平君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 伊澤君ノ修正ハ委員修正ハ其儘ニテ更ニ修正スルノデアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 起立者 多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤齊君) 伊澤君ノ修正ハ委員修正ハ其儘ニテ更ニ修正スルノデアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス修正三十一條

○第三十條 帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ偽作物ヲ輸入スル者ハ

偽作者ト看做ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 修正ノ三十一條

○議長(公爵近衛篤齊君) 是レ亦御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ委員修正ノ三十一條

○議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ三十三條ヨリ三十六條マデ

○議長(公爵近衛篤齊君) 善意且過失ナク偽作物ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之カ爲ニ他人ニ損失

ト看做ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ三十一條

○議長(公爵近衛篤齊君) フ及ボシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

○第三十二條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作権者ハ偽作物ニ對シ他ノ著作

權者ノ同意ナクシテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求
又ハ自己ノ持分ニ應シテ前條ノ利益ノ返還ヲ請求スルコトヲ得
第三十三條 偽作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既ニ發行シタ
ル著作物ニ於テ其ノ著作者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ著作者ト
者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス
未タ發行セサル演劇脚本、淨瑠璃脚本、能樂脚本及樂譜ノ興行ニ關シテ
ハ其ノ興行ニ著作者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作者ト推定
著作者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス
第三十四條 偽作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルトキハ裁判所
ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立テシメ又ハ立テシメスシテ假ニ
偽作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ
差止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ偽作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止
又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

(特別委員修正案)

第三十三條 善意ニシテ且過失ナク偽作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之カ爲ニ他人
ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務
ヲ負フ

第三十四條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作権者ハ偽作ニ對シ他ノ著作
權者ノ同意ナクシテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求
シ又ハ自己ノ持分ニ應シテ前條ノ利益ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條 偽作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既ニ發行シタ
ル著作物ニ於テ其ノ著作者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ著作者ト
推定ス
未タ發行セサル演劇脚本、淨瑠璃脚本、能樂脚本及樂譜ノ興行ニ關シテ
ハ其ノ興行ニ著作者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作者ト推定
著作者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス
第三十六條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰
金ニ處ス

第三十七條 第二十條及第二十九條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セス
シテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百
圓以下ノ罰金ニ處ス

(特別委員修正案)

第三十八條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰
金ニ處ス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ三十
八條三十九條

第三十九條 第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セス
シテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百
圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス次ハ四十一
條ヨリ四十八條マデ……

第三十八條 著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者
ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 著作權ノ消滅シタル著作物ト雖之ヲ改竄シテ著作者ノ意ヲ害
シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作者ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物
偽作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ
差止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ偽作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止

又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス
○伊澤修二君 此三十五條ノ所ニモ矢張第三項ノ所ニ脚本ト云フコトガゴザ
イマスガ是モ矢張各種ト云フ字ガナイ唯脚本ト云フダケノ修正デゴザイマス
カラ前ノ修正ノ結果トシテ是モ直ルト云フコトニ願ヒタイ
○議長(公爵近衛篤麿君) 是ハ如何デゴザイマセウカ別段ニ定規ノ贊成ヲ取
ルダケノ必要モナイト思ヒマス、前ノ修正ノ結果デゴザイマスカラ自然修正
ニナッテ居ルモノト認メテ宜カラウト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 三十二條カラ三十六條マデ委員修正ニ御異議ガナ
クバ其通決シマス次ハ三十七條

第三十五條 偽作ヲ爲シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十六條 偽作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル
者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ三十
八條三十九條

第三十七條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰
金ニ處ス

第三十八條 第二十條及第二十九條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セス
シテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百
圓以下ノ罰金ニ處ス

(特別委員修正案)

第三十九條 第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セス
シテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百
圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマス次ハ四十一
條ヨリ四十八條マデ……

第三十八條 著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者
ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 著作權ノ消滅シタル著作物ト雖之ヲ改竄シテ著作者ノ意ヲ害
シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作者ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物
偽作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ
差止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ偽作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止

發賣者、頒布者又輸入者ノ所有ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス
第四十二條 本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス但シ

第三十六條ノ場合ニ於テ著作者ノ死亡シタルトキ竝第三十八條乃至第四十條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時效ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成

ス

第四章 附則

第四十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞版權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十五條 本法施行前ニ著作權ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

第四十六條 本法施行前偽作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得

前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施行後五年間仍其ノ複製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

(特別委員修正案)

第四十七條 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後五年内ニ發行スルコトヲ要ス

第四十九條 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年内ニ發行スルコトヲ要ス

前項ノ翻譯物ハ發行後五年間仍之ヲ複製スルコトヲ得

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員ノ修正ニ決シマスソレカラ五十條ヨリ五十二條マテ……

第四十八條 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

第四十九條 第四十六條乃至第四十八條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得

第五十条 本法ハ建築物ニ邊用セス

第五十條 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

第五十一條 第四十八條乃至第五十條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得

第五十二條 本法ハ建築物ニ適用セス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、ソレカラ後トヘ

(「異議ナシト呼フ者多シ」)
○議長(公爵近衛篤脣君) 是ニテ二讀會ハ終リマシテゴザイマス
○加藤弘之君 第二讀會ヲ直ニ開カレンコトヲ望ミマス
(「贊成ト呼フ者多シ」)

第四十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞版權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十七條 本法施行前ニ著作權ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリス

本法ノ保護ヲ享有ス
第四十八條 本法施行前偽作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得

○議長(公爵近衛篤脣君) 直ニ第三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシト呼フ者多シ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラ三讀會ニ移リマス、御異議ガナケレバ本案可決ト認メマス、次ハ愛媛縣下郡界變更法律案、衆議院提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

愛媛縣下郡界變更法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十二年二月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

○子爵小笠原壽長君 本員ハ一ツ政府委員ニ質問ガアル此愛媛縣ノ郡界變更ハ政府ハ必要ト御認ニナクテ居リマスル譯デアリマスカ、一ツ御明瞭ニ御説明ヲ願ヒマス

(政府委員深野一二君演壇ニ登ル)

○政府委員(深野一二君) 御答致シマスガ此法律案ハ至極便利デアラウト思ヒマスウナリマシタ方ガ、ソレデ政府ハ同意ヲ致シマシタノデゴザイマス

○關義臣君 政府ニ質問致シマス、ドウ云フ所デ是ハ便利デアリマスカ、少シ其理由ヲ伺ヒタ

○政府委員(深野一二君) 御答致シマスガ總テ取調ベテ見マスト警察ノ區劃モ此通ニナクテ居リマス、稅務ノ區劃モ此通ニナクテ居ル、サウシテ一方ノ方ハドウカト申シマスルト山ヲ隔テマシテドウモ是マデノ通デハ不便利デアル、コチラノ一方ノ郡ニ附キマシタ方ガ餘程地形上便利デゴザイマシテ此今申上げマシタ通警察ノ區劃其他稅務ノ區劃モサウナクテ居リマシテ獨り行政區劃ノミ違ツテ居リマスノデゴザイマス、是ハ至極便利ト思ヒマス

○關義臣君 尚ホ伺ヒマスガ、此字和郡ト唯今ノ平野村ノ間ニ山デモ隔ツテ居リマスカ

○政府委員(深野一二君) 左様デス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ノ選定ハ議長ニ御委託致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ハゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバサウ致シマス、次ニ府縣制中改正法律案、中西光三郎君外一名發議、第一讀會、前會ノ續見マスト「抑」カラ末ノ方ガ書改メナケレバナラヌヤウニ書イテアル「抑」

府縣會議員ノ選舉權ハ卽市會議員ノ獨選セシムルノ法ヲ施行セラレシ前云々トシテ「其選舉ノ競爭ニ著シキ弊害ヲ釀シタル而已ナラス市町村ノ公民ヲシテ常ニ不満ヲ懷カシムル」云々トアル是ハ畢竟抑々以下眼目ノ趣意タル所

デ見マスト云フト府縣會議員ノ選舉ヲ都市會議員ヲシテ複選セシムルコトガ第一イカナイ、ソレカラ來ルコト、見エマス、然ルニ府縣參事會員中ニ府縣ノ高等官二名ヲ加ヘテ組織シタルヲ改メトアリマスガ改メストキニハ弊害ガ

多イト云フ趣意モ理由書デハ一向見エナイ畢竟此理由書デ見ルト府縣ノ高等官二名ヲ參事會員ノ中ニ加ヘマスノガ取り除ニナクテ居ルヤウニ見エル、競争ニ弊害ノ多イノミデナイ市町村ノ公民ニ不満ヲ懷カシメルトゴザイマス、

是ハ一向高等官二名ヲ加ヘタカラ弊害ガアルト云フコトハ見エナイ、ドウ云フ趣意デアルカ、發議者ノ御答辯ヲ希ヒマス

○中西光三郎君 御答致シマス、是ハ畢竟理由書ガ簡略ニ過ギマシタノデ理由書ノ方ニハ高等官二名ヲ府縣參事會ヨリ除クト云フ理由ハ掲載致シマセヌガ其理由ハ更ニ口頭ヲ以テ申上グマスデゴザイマス、畢竟府縣參事會員ニ

高等官二名ヲ加ヘルト云フコトニナリマシタノハ府縣制實施以來始テ、ゴザイマス、明治十二年以來府縣會ヲ始テ開ケマシテカラ以來常置委員ト云フモノハゴザイマシタガ常置委員ハ總テ五名ナリ七名ナリ府縣會議員ヨリ互選ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、故ラニ府縣制ニ於テ高等官二名ヲ加ヘルト云フコトハ餘程人民ニ於テハ會議ニ自ラノ便利ガナイ、ナゼナレバ前ニハ常置委員ト云フモノハ府縣會議員ノ中カラ互選ニナクテ居リマシタモノデゴザイマス、之ニ敢テ高等官ヲ加ヘナクトモ府縣廳ニ於テハ不都合ハナカラウト考ヘマス、府縣ノ高等官ハ府縣參事會ニ列シテ自由ニ意見ヲ述べルコトガ出来得ルト云フ規定ヲ設ケマシテゴザイマス、唯決議ノ數ニ加ラヌト云フマダノコトデゴザイマス、固ヨリ唯今トテモ七名ノ參事員ノ中僅カ二名デゴザイマスカラ頭數ニ於テハソレガ多數ヲ占メルト云フノデゴザイマセヌ、願ハクハ高等官ヲ加ヘヌト云フコトニ致シマシタ方ガ大イニ府縣民ニ満足ヲ與フルデアラウト云フ考ニ過ギマセヌ

○關義臣君 尚ホ右ノ續ヲ發議者ニ御尋申シマスガサウシマスト此抑々以下ト云フコトハドウ云フコトニ書出スカ初ノ御話ニハ簡略シテアルトカ落チテ居ルトカ云フ御話デゴザイマスガ高等官二名ヲ加ヘテ置ケバドウト云フコトト、説明シニハ書クノデゴザイマス

○中西光三郎君 理由書ノ書方ハドウデアルカト云フコトデゴザイマスカ○關義臣君 理由書ニ落チテアルトカ疎忽ニナクテ居ルトカ云フ御話デアルニ附イテ其理由ノ書イテナインハドウ云フ理由デスカ伺ヒタイノデスマセヌガ今一應御答ヲ願ヒタウゴザイマス、高等官二名ヲ加ヘテ置ケバ縣民承ヲ願ヒマス、尚ホ御分リガゴザイマセネバ更ニ御質問ヲ願ヒマス

○關義臣君 私ハ發議者ノ御答ガアツタンナラバ私ガ聽達デアツタカモ知レ

ガ不満デアルトカ何トカ云フコトノ御説明ガアツテ私ノ聽達ガアツタカモ知レマセヌガ更ニ御苦勞デゴザイマスケレドモ一應御説明ヲ願ヒマス

○中西光三郎君 前御答ヘ申上ゲタノデゴザイマスガ更ニ申上ゲマスデゴザイマス、舊トハ常置委員ト云フモノガゴザイマシタ、其常置委員ハ總テ府縣會議員ヨリ互選ヲ致シマシタ、ソレガ其府縣制ト變リマシテカラ以來會員ニ高等官二名ヲ加ヘルコトハ人民ニ於テハ以前ノ常置員ノ如クニセラレタイト云フ希望ヲ致シテ居リマスル次第デゴザイマス、又ソレニ附イテ府縣廳ハ別ニ高等官ヲ委員ニ加ヘナケレバナラスト云フ事實ハナカラウト思フ、尤モ委員會ニ高等官ハ出席シテ自由ニ辯論ガ出來マス譯デゴザイマスガ唯決議ノ數ニ加ルカ加ラナイノト云フ區別ガアルダケデゴザイマス

○周布公平君 政府委員ニ質問致シマスガ政府ニ於テハ府縣制郡制ノ改正法律案ヲ此議會ニ提出スル積デ取調べ、居ラレルカノヤウニ仄ニ承リマスルガ果シテ然ルアリマスカ伺ロタウゴザイマス

○政府委員(松平正直君) 唯今周布君ノ御尋ニ府縣會郡制ノ改正ハ既ニ調査濟ニ相成リマシタカラ遠カラズ提出ニナルデアラウト存ジマス、此段ヲ……

○周布公平君 唯今政府委員ノ明言セラル、所ヲ承リマスト府縣制郡制ノ改正法律案ハ既ニ調査濟ニナシテ不日議會ニ提出スルト云フコトアリマス此中西君其他ノ議員ノ發議ノ趣旨ヲ見マスルト隨分是ハ重大ナコトアリマスル容易ニ贊否ハ決シ難イコトアリマスルガ定メシ此提出者ニ於キマシテ十分ニ多年経験上ヨリ御調査ニナツタコト、考ヘマスル、就キマシテハ此兩案共ニ特別委員ニ付セラレマシテサウシテ審査セラル、其間ニハ政府ヨリモ改正案ガ提出ニナリマセウカラ其際ニ併テ十分ニ研究ニナルコトニ致シタイト

○周布公平君 演壇ニ登ル

○天春文衛君 周布君ニ贊成

○小原重哉君 贊成

○松本鼎君 本員ハソレニ附イテ今一應政府委員ニ質問致シタイ、此改正案ハ大體ニ於テハ今日誠ニ適當ナモノデアラウト思ヒマスガ、唯今政府カラ追々テ出ルト云フコトアリマス、其出ルニ附キマシテハ唯今周布君ノ說ノ如ク此案ハ特別委員ニ付シテ取調中ニ政府カラ出サレルダラウカラサウシタラ宜カラウトスウ云フコトデ、就キマシテハ政府ガ是ニ對スル今日ノ所ノ御意見ガ承リタイ

○政府委員(松平正直君) 同意ヲ表シテ宜シキ部分モアリ或ハ不同意ノ部分見ハドウダト云フ御話……

○松本鼎君 左様デゴザイマス

○政府委員(松平正直君) 同意ヲ表シテ宜シキ部分モアリ或ハ不同意ノ部分了解ニナリマスルヤウニ致シタイ、一々此箇條ニ向クテ同意不同意ヲ表スル

コトハ致シマセヌ積デゴザイマス

○松本鼎君 ソレナラバ唯今ノ周布君ノ申サレタ如ク特別委員ニ付セラル、方ニ政府ハ御同意デアリマセウカ

○政府委員(松平正直君) 政府ハ別ニ異存ハアリマセス

○松本鼎君 周布君ニ贊成

○中西光三郎君 議長ニ願ヒマスデゴザイマスガ、此場合ドウカ日程ノ第十四、郡制中改正法律案モ併テ議題ニ供セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛萬曆君) 是ハ別ニ説明モアリ、別ニ問題ニナシテ居ルコトデアリマスカラ少シ差支ルト思ヒマスガ、ソレハ又此次ノ日程ニ移シテカラ御發議ニナツタラ如何デゴザイマス……周布君ノ特別委員ニ付スルト云フノニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(公爵ナシト呼フ者アリ)

○籠手田安定君 私ハ發議者ニ質問シタイコトガアリマス

○議長(公爵近衛萬曆君) 何デゴザイマスカ

○籠手田安定君 發議者ニ質問ガシタウゴザイマス

○議長(公爵近衛萬曆君) 今ノ府縣制デスカ

○籠手田安定君 ハイ

○議長(公爵近衛萬曆君) ソレハ特別委員ニ付スルコトニナリマシタカラ少シ時機ヲ失シマシタ

○周布公平君 此特別委員ハ議長ノ選定ニ御委託ヲ致シマシテ直ニ選定アラシコトヲ希望致シマス

○小原重哉君 贊成

○議長(公爵近衛萬曆君) 周布君ニ確メマスガ、人數ハ……

○周布公平君 人數ハ矢張普通ノ九名

○議長(公爵近衛萬曆君) 「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(公爵近衛萬曆君) 御異議ハアリマスマイカ

○議長(公爵近衛萬曆君) 然ラバサウ云フコトニ致シマス、郡制中改正法律案、中西光三郎君外一名發議、第一讀會

(小原書記官朗讀)

郡制中改正法律案

明治三十二年一月二十八日

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

子爵 賛成者 中西光三郎
色部 賛成者 外義太夫
板倉勝達

貴族院議長公爵近衛萬曆殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

明治二十三年法律第三十六號郡制中左ノ通改正ス

第四條 郡會ハ郡内各町村選舉會ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條第一項ヲ左ノ如ク改メ第二項乃至第五項ヲ削除ス

郡會議員ノ數ハ毎町村各一名トス但數町村組合一名ノ町村長之ヲ管理ス

ルモノハ一町村ト同視スヘシ

第六條乃至第九條ヲ削除ス

第十條ヲ第六條ニ改メ同條第一項中「及大地主中自ラ選舉ニ加ハルコトヲ得ヘキ者」ヲ削リ「郡會」ノ下「ノ」ヲ削リ「議員ノ選舉權及」ヲ加ヘ第二項中「郡會」ノ下ニ「議員」ヲ加ヘ第三項中「選舉ニ係ルト否トヲ問ハス」ヲ削除シ第四項中「ニ應シ又ハ第八條第二項ノ權利ヲ行ハシ」ヲ「シ之ニ應セン」ニ改ム

第六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ選舉前六十日ヲ期トシ其町村内ニ於テ選舉資格ヲ有スル者ヲ調査シ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニ關シ異議アルトキハ縱覽期限内ニ郡參事會ニ訴願スルコトヲ得

第十一條及第十二條ヲ削除ス

第十二條ヲ第八條ニ改メ同條第一項中「名譽職ト」ノ下ニ「シ其任期ヲ四年ト」及同項ノ末ニ「但任期ヲ終リタル後仍選舉ニ應スルコトヲ得」ヲ加ヘ第二項及第四項ヲ削除ス

第十四條ヲ第九條ニ改ム

第十五條ヲ削除ス

第十六條ヲ第十條ニ改メ同條中「七日」「七十日」ニ改メ別ニ左ノ一項ヲ加

選舉會ハ町村役場又ハ町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開キ町村長其選舉長トナリ之ヲ管理ス

第十七條及第十八條ヲ削除ス

第十九條ヲ第十一條ニ改メ同條第一項中「町村會ニ於テ行フ選舉ニ在テハ」ヲ削除シ「數町村會會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ」選舉會長ヲ「ハ」ニ改メ「當選人ニ通知シ」ノ下「町村長ハ」ヲ削除シ第三項中「及選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルヘキ大地主ニシテ町村ノ選舉ニ當選シタルトキハ其選舉ニ應スルコト又ハ應セサルコト」及第五項ヲ削除ス

第二十條ヲ第十二條ニ改メ同條中「更ニ選舉ヲ行ヒ又ハ」ヲ削除ス

第二十一條ヲ第十三條ニ改メ以下第二十四條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第二十五條ヲ第十七條ニ改メ同條第一項中「被選權ノ有無」ノ下「名簿ノ

正否」ヲ加フ

第二十六條ヲ第十八條ニ改メ以下第二十九條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第三十條ヲ第二十二條ニ改メ同條第一項ヲ削除シ第二項中「議長代理者」ヲ議員中ヨリ議長副議長各ニ改メ第三項中「議長代理者」ヲ「副議長」ニ改メ「臨時議長」ノ下「代理」ヲ削除シ仍第二項ヲ第一項ニ第三項ヲ第二項ニ

綠上ク

第三十一條ヲ第二十三條ニ改メ以下第三十五條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第三十六條ヲ第二十八條ニ改メ同條中「第十八條四ヨリ六ニ至ル」ヲ「府縣制第三十五條」ニ改ム

第三十七條ヲ第二十九條ニ改メ以下第四十五條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第三十八條選舉人名簿ノ縱覽及確定選舉ノ手續投票ノ效力選舉會場ノ取締及選舉ニ關スル罰則ハ町村制ノ規定ヲ準用ス

第四十六條ヲ第三十九條ニ改メ同條第二項中「中三名」ヲ削除シ「互選」ノ下「ス」ヲ加ヘ「シ」一名ハ府縣知事ニ於テ郡會議員若ハ郡内町村ノ公民中ヨリ選任スヘシ」ヲ削除ス

第四十七條ヲ第四十條ニ改メ同條中「代理」ヲ削除ス

第四十八條ヲ第四十一條ニ改メ同條中「郡會ノ互選シタル」ヲ削除シ「四名」ニ改ム

第四十九條ヲ第四十二條ニ改メ同條第二項中「郡會ノ互選シタル」ヲ削除シ「四名」ニ改ム

第五十條ヲ第四十三條ニ改メ以下第五十二條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第五十三條ヲ第四十六條ニ改メ同條第一項中「又ハ其代理者」ヲ削除ス

第五十四條ヲ第四十七條ニ改メ以下第六十餘マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

第六十一條ヲ第五十四條ニ改メ同條中「五十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第六十二條ヲ第五十五條ニ改メ同條第一項中「前年度」ヲ「前々年度」ニ改ム

第六十三條ヲ第五十六條ニ改メ以下第九十一條マテ各條數ノ綠上之ニ倣フ

本法ハ次ノ郡會議員改選期ヨリ施行ス
○中西光三郎君 本案モ府縣制同様ノ趣意デゴザイマシテ全ク大地主議員ノ制度ヲ廢スルコト其他改正ノ理由ハ概略理由書ニモ認メテゴザイマス、是モ願ハクハ追々テ政府案ヲ御提出ニナルト云フコトデゴザイマスカラ特別委員ニ御付託ニナランコトヲ希望致シマス

○周布公平君 本案モ唯今中西君ノ請求セラル、通特別委員ニ付スルコトニ賛成致シマス、矢張前ノ府縣制中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託致シタイ

(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 中西君ノ動議並ニ周布君ノ同一委員ニ付託ト云フ

云フコトニ段々賛成ガアリマスガ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ其通決シマス
○侯爵黒田長成君 此次ノ第十五ノ問題デゴザイマスガ此學政振張ニ關スル
建議案ハ本日ハ發議者中ニ少々故障ガアリマスカラ次回ノ日程ニ掲グラレン
コトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ本日ノ議事ハ是ニテ終リマシタ、唯今御委
託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ビマス
〔此時退席スル者アリ〕

チヨダト暫ク御退席ヲ……アトデ御相談スルコトガアリマスカラ……

〔太田書記官長朗讀〕

愛媛縣下郡界變更法律案特別委員

子爵京極高典君 子爵山口弘達君

子爵松平康民君

子爵籠手田安定君 三浦安君

小牧昌業君

男爵長松幹君 男爵南光利君

飯尾麒太郎君

府縣制中改正法律案外一件特別委員

子爵堤功長君

公爵徳川家達君 伯爵萬里小路通房君

千坂高雅君

松岡康毅君 男爵船越衛君

色部義太夫君

森山茂君 中西光三郎君

飯尾麒太郎君

○議長(公爵近衛篤曆君) 明日ノ議事ノコトデゴザイマスガ、議案が甚ダ少
イノデゴザイマス、葉煙草專賣法中改正法律案ト云フモノハ第二讀會ヲ延期
シテアリマスガ、正當ノ手續ニ參リマスレバ明後日デナケレバ開ケマセウ
ガ、議案が少ウゴザイマスカラ明日ニ致シテハ如何デゴザイマセウ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、然ラバ明日ノ議
事日程ヲ御報告致シマス

(太田書記官長朗讀)

午前十時開議

第一 沖繩縣砂糖買上制度廢止ニ關スル法

(政府提出衆)

(議院送付)

第二 葉煙草專賣法中改正法律案(政府提出衆)

(議院送付)

第三 學政振張ニ關スル建議案(侯爵黒田長成)

(君外四名發議)

第四 請願審査ニ關スル決議案(男爵末公謙)

(君外四名發議)

第一讀會ノ續(特別委員)
(長報告)

第二讀會

會 議

○議長(公爵近衛篤曆君) 今日ハ散會
午後一時五十八分散會